

池田市政に関する市民アンケート（意識調査）
結果報告書

令和3年2月

池 田 市

目 次

1. 調査概要	2
1. 1 調査目的	2
1. 2 調査設計	2
1. 3 回収状況	2
2 調査結果	3
2. 1 調査結果の表示方法.....	3
2. 2 回答者の属性.....	4
2. 3 池田市の住みやすさとイメージについて.....	9
2. 4 市が目指してきた「まちの姿」について.....	15
2. 5 これからのまちづくりについて.....	27
2. 6 新しい生活様式などについて.....	35
2. 7 自由意見	38
2. 8 コミュニティ活動や市民参加について.....	39

(参考資料) 池田市政に関する市民アンケート (意識調査) 調査票

1. 調査概要

1. 1 調査目的

池田市では、まちづくりの方針を定めた「第6次総合計画」の計画期間が令和5年3月に終了するため、今後のまちづくりの新しい道しるべとなる「第7次総合計画」をつくる準備を進めています。

このため、市民のみなさまに、これまでのまちづくり事業やこれからのまちづくりの方向性などについて、率直なご意見やお考えをお伺いし、新たな総合計画に反映していく基礎資料とするために、池田市政に関する市民アンケート（意識調査）を実施しました。

1. 2 調査設計

対象者：住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人

方 法：郵送による配布及び回収

期 間：令和2年9月10日～9月27日

1. 3 回収状況

配布数：2,991件（郵送した3,000件のうち、住所不明による不達9件を除く）

回収数：1,812件

回収率：60.6%

2 調査結果

2.1 調査結果の表示方法

(1) 集計の母数について

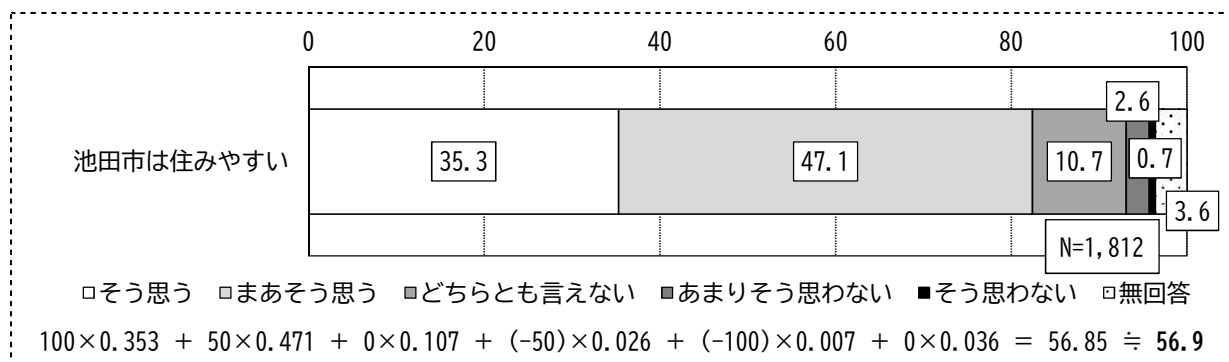
質問ごとの集計の母数 (N) は、グラフ中に「N=1,812」のように表示しています。

(2) 加重平均の算出について

これまでの池田市の施策や今後の方向性に関して、回答者の満足度やニーズを定量的に比較するために、「そう思う」や「まあそう思う」などの段階的な選択肢を設けている質問については、それぞれの選択肢に加重評点を定めて、加重平均を算出しています。なお、無回答については、「どちらとも言えない」と同じ加重評点としています。

選択肢			加重評点
そう思う	そうになっている	重要	100
まあそう思う	まあそうになっている	やや重要	50
どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
あまりそう思わない	あまりそうになっていない	あまり重要でない	-50
そう思わない	そうになっていない	重要でない	-100
無回答	無回答	無回答	0

例えば、「池田市の住みやすさなどについて」の質問における「池田市は住みやすい」という項目の加重平均を算出する場合は、次のように、回答状況をもとに計算を行い、その値は56.9となります。



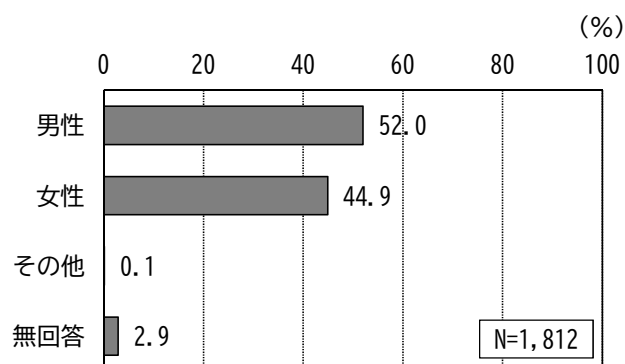
(3) その他の留意事項

- ・本報告書中の質問本文や項目は、その趣旨を変えない程度で、表現の省略等をして掲載している場合があります。
- ・集計結果の百分率 (%) は、小数点第2位を四捨五入しているため、数字の合計が100%にならない場合があります。

2. 2 回答者の属性

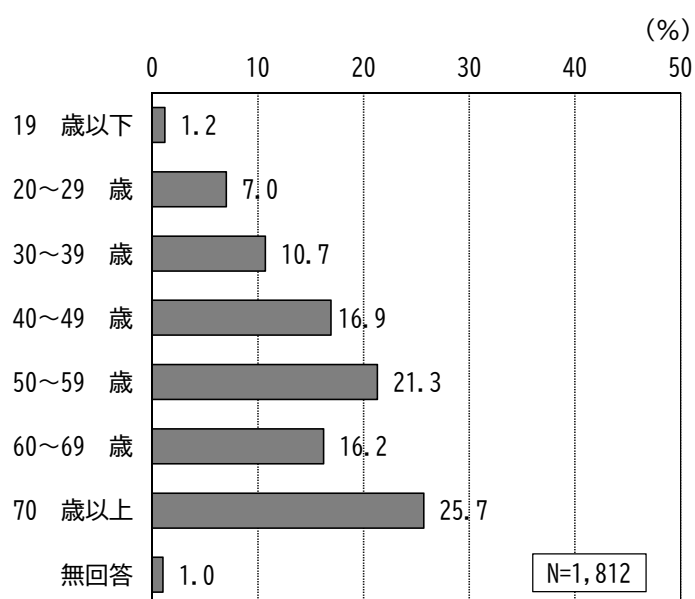
(1) 性別

- ・回答者の性別は、「男性」が52.0%、「女性」が44.9%となっています。



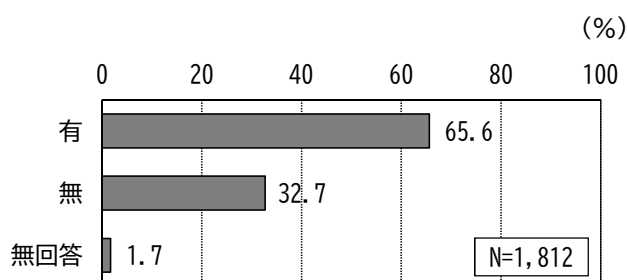
(2) 年齢

- ・回答者の年齢は、「70歳以上」が25.7%と最も多く、次いで「50歳代」が21.3%、「40歳代」が16.9%などとなっています。
- ・「19歳以下」は、1.2%と非常に少なくなっています。



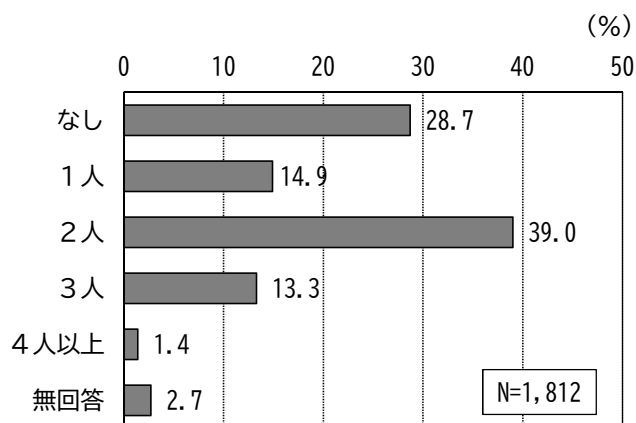
(3) 配偶者の有無

- ・回答者の配偶者の有無は、「有」が65.6%、「無」が32.7%となっています。



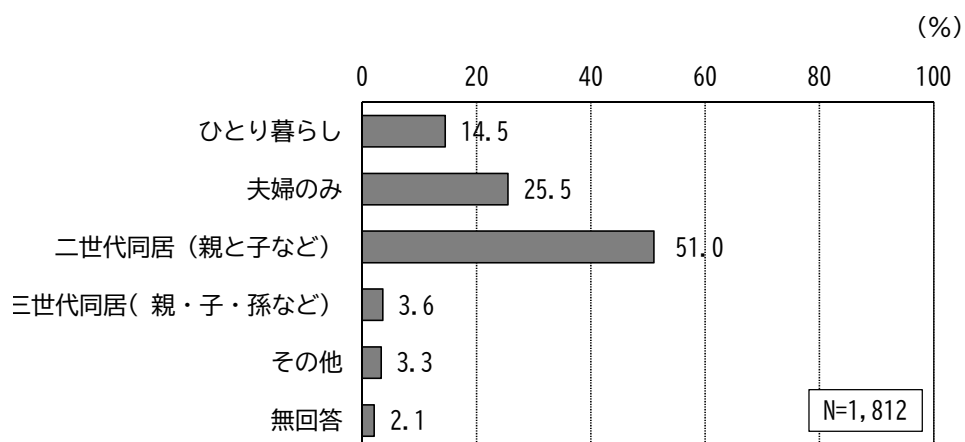
(4) 子どもの人数

- ・回答者の子どもの人数は、「2人」が39.0%と最も多く、次いで「なし」が28.7%となっています。



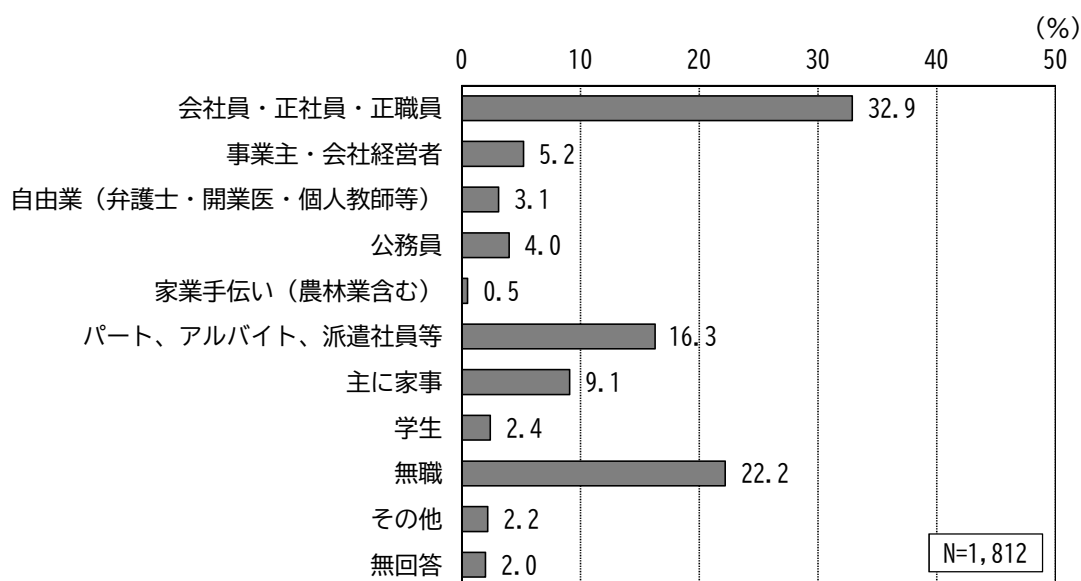
(5) 世帯構成

- ・回答者の世帯構成は、「二世帯同居（親と子など）」が51.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が25.5%、「ひとり暮らし」が14.5%などとなっています。



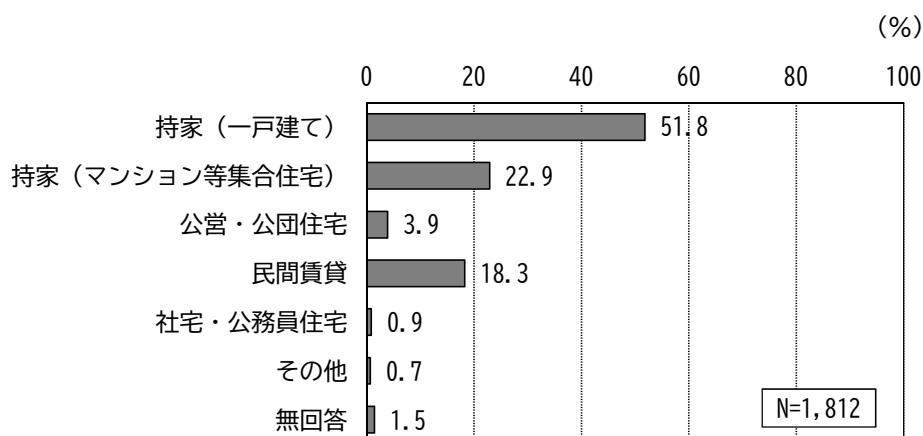
(6) 職業

- ・回答者の職業は、「会社員・正社員・正職員」が32.9%と最も多く、次いで「無職」が22.2%、「パート、アルバイト、派遣社員等」が16.3%などとなっています。



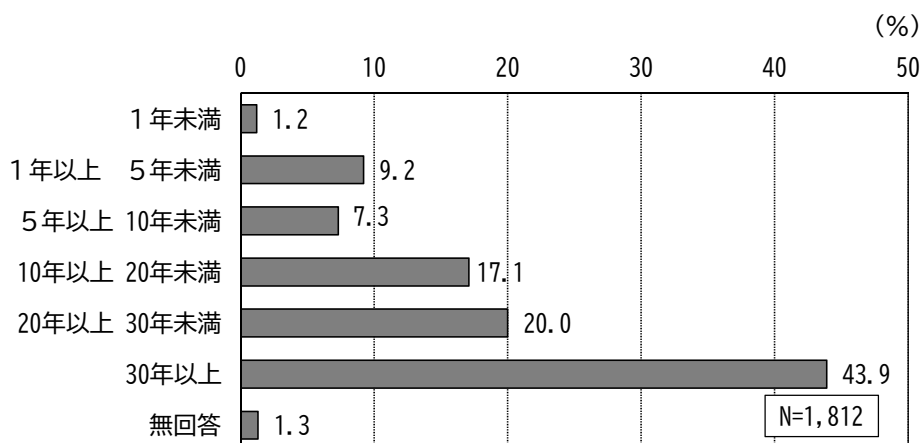
(7) お住いの住居形態

- ・回答者の住居形態は、「持家（一戸建て）」が51.8%と最も多く、次いで「持家（マンション等集合住宅）」が22.9%、「民間賃貸」が18.3%などとなっています。



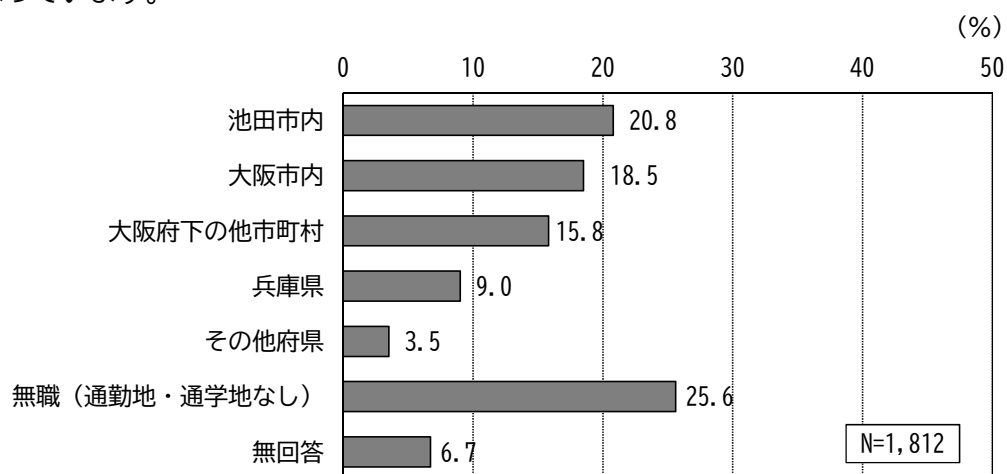
(8) 池田市に住んでいる年数

- ・回答者が池田市に住んでいる年数は、「30年以上」が43.9%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」が20.0%、「10年以上20年未満」が17.1%などとなっています。



(9) 勤務地・通学地

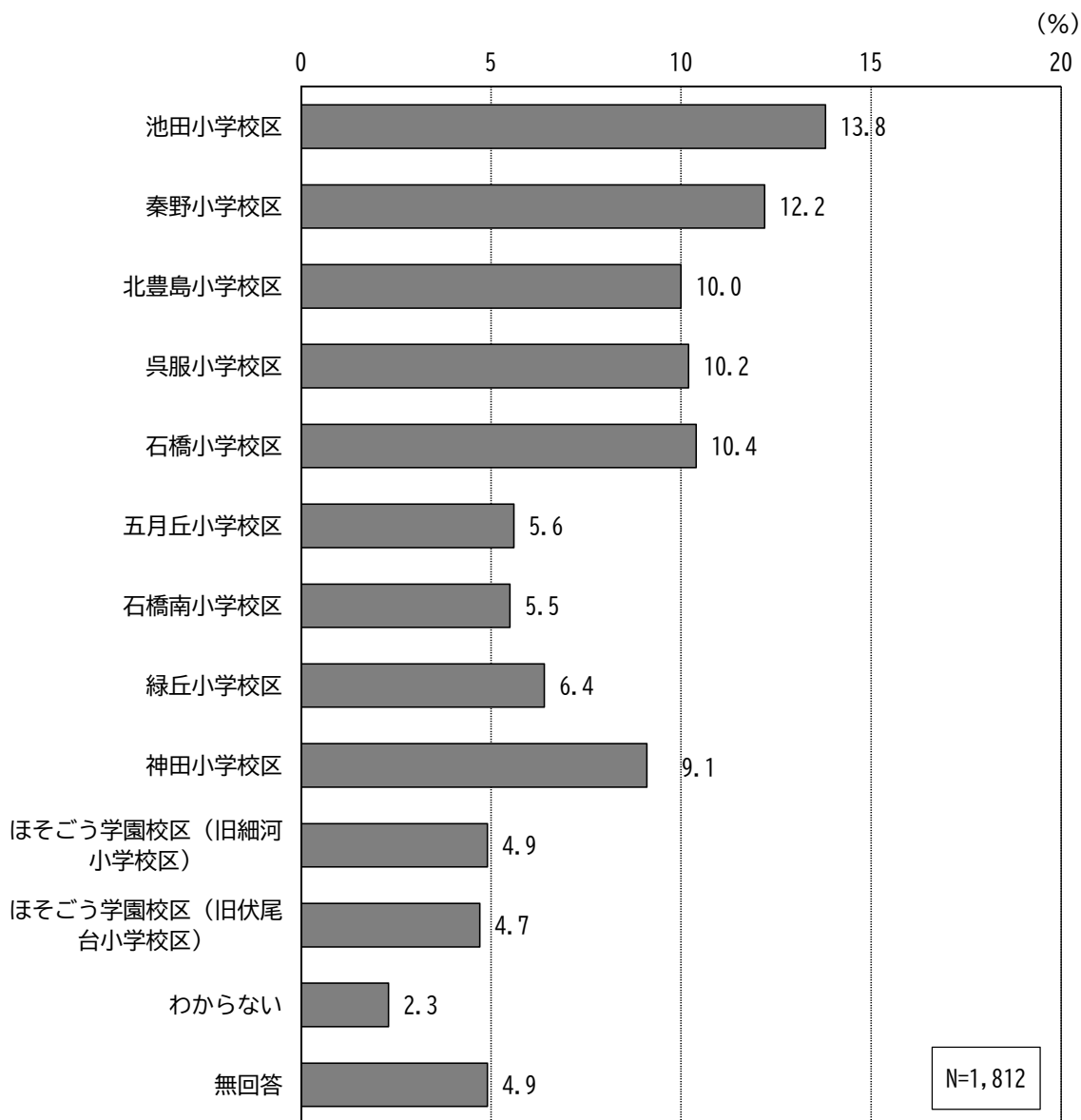
- ・回答者の勤務地・通学地は、「無職（通勤地・通学地なし）」を除くと、「池田市内」が20.8%と最も多く、次いで「大阪市内」が18.5%、「大阪府下の他市町村」が15.8%などとなっています。



※無職（通勤地・通学地なし）には、職業で「主に家事」と回答した165件のうち、136件が含まれます。

(10) お住いの小学校区

- ・回答者の居住地の小学校区は、「池田小学校区」が13.8%と最も多く、次いで「秦野小学校区」が12.2%、「石橋小学校区」が10.4%などとなっています。



2.3 池田市の住みやすさとイメージについて

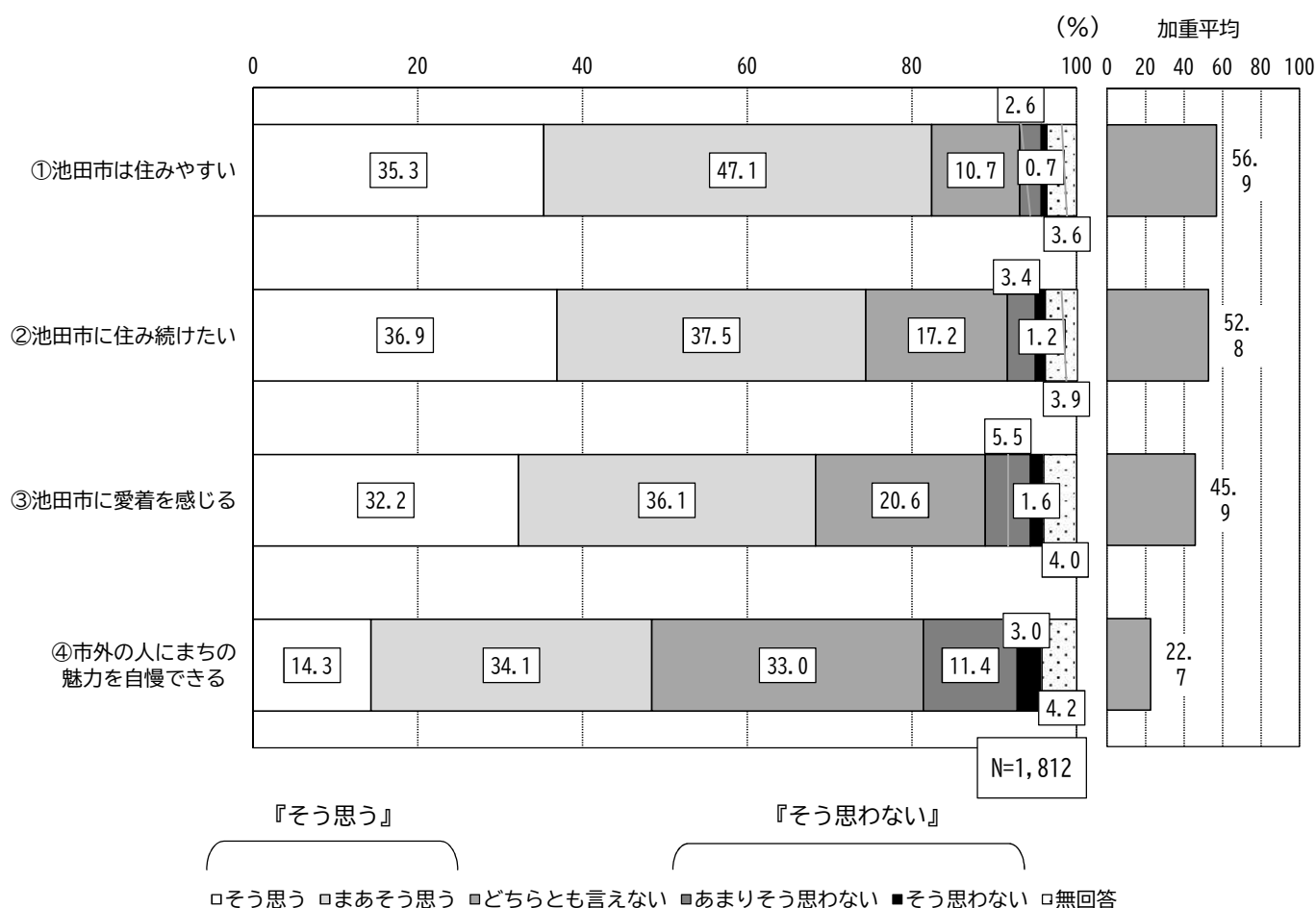
(1) 池田市の住みやすさなどについて

(質問)

池田市の住みやすさなどについて、どのようにお考えですか（あてはまる選択肢をそれぞれ1つ選択）。

○全体

- ・「①池田市は住みやすい」については、『そう思う』（「そう思う」と「まあそう思う」の合計（以下、同様））が82.4%、『そう思わない』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（以下、同様））が3.3%となっています。
- ・「②池田市に住み続けたい」については、『そう思う』が74.4%、『そう思わない』が4.6%となっています。
- ・「③池田市への愛着を感じる」については、『そう思う』が68.3%、『そう思わない』が7.1%となっています。
- ・「④市外の人にまちの魅力を自慢できる」については、『そう思う』が48.4%、『そう思わない』が14.4%となっています。



○性・年齢別（加重平均）

- ・すべての項目について、性別で大きな差はみられません。
- ・「①池田市は住みやすい」、「③池田市に愛着を感じる」、「④市外の人にまちの魅力を自慢できる」では、年代別で大きな差はみられません。
- ・「②池田市に住み続けたい」では、30代以上と比較して、20代以下は住み続けたいと思う人が少なくなっています。

項目	全体	性別		年齢						
		男性	女性	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
①池田市は住みやすい	56.9	57.2	56.9	62.0	60.7	56.8	57.5	58.5	53.2	56.5
②池田市に住み続けたい	52.8	54.0	52.2	23.8	39.0	50.6	52.0	54.3	54.0	58.7
③池田市に愛着を感じる	45.9	46.3	46.3	47.6	40.2	39.6	43.7	48.4	45.6	50.7
④市外の人にまちの魅力を自慢できる	22.7	21.7	24.4	16.7	18.5	18.4	20.6	22.8	24.9	26.5

※「19歳以下」はサンプル数が全体の1.2%と非常に少ないため、他の年代と比較して極端な値が出やすくなっている点に留意してください（以下、同様）。

○地域別（加重平均）

- ・池田小学校区、呉服小学校区、緑丘小学校区は、すべての項目について、値が比較的高くなっています。
- ・ほそごう学園校区（旧細河）は、すべての項目の値が最も低くなっています。また、ほそごう学園校区（旧伏尾台）や神田小学校区も、値が比較的低くなっています。

項目	全体	お住まいの小学校区										
		池田小学校区	秦野小学校区	北豊島小学校区	呉服小学校区	石橋小学校区	五月丘小学校区	石橋南小学校区	緑丘小学校区	神田小学校区	ほそごう学園校区(旧細河)	ほそごう学園校区(旧伏尾台)
①池田市は住みやすい	56.9	65.0	57.2	55.6	63.7	57.7	56.4	62.0	62.9	51.9	40.4	42.5
②池田市に住み続けたい	52.8	62.4	55.9	52.5	64.2	51.6	56.4	47.5	55.2	47.9	37.0	45.3
③池田市に愛着を感じる	45.9	53.4	48.6	48.6	55.4	43.7	45.7	41.0	49.6	40.1	34.8	43.0
④市外の人にまちの魅力を自慢できる	22.7	35.6	24.0	18.7	29.9	17.8	25.5	25.5	29.3	18.1	7.4	15.8

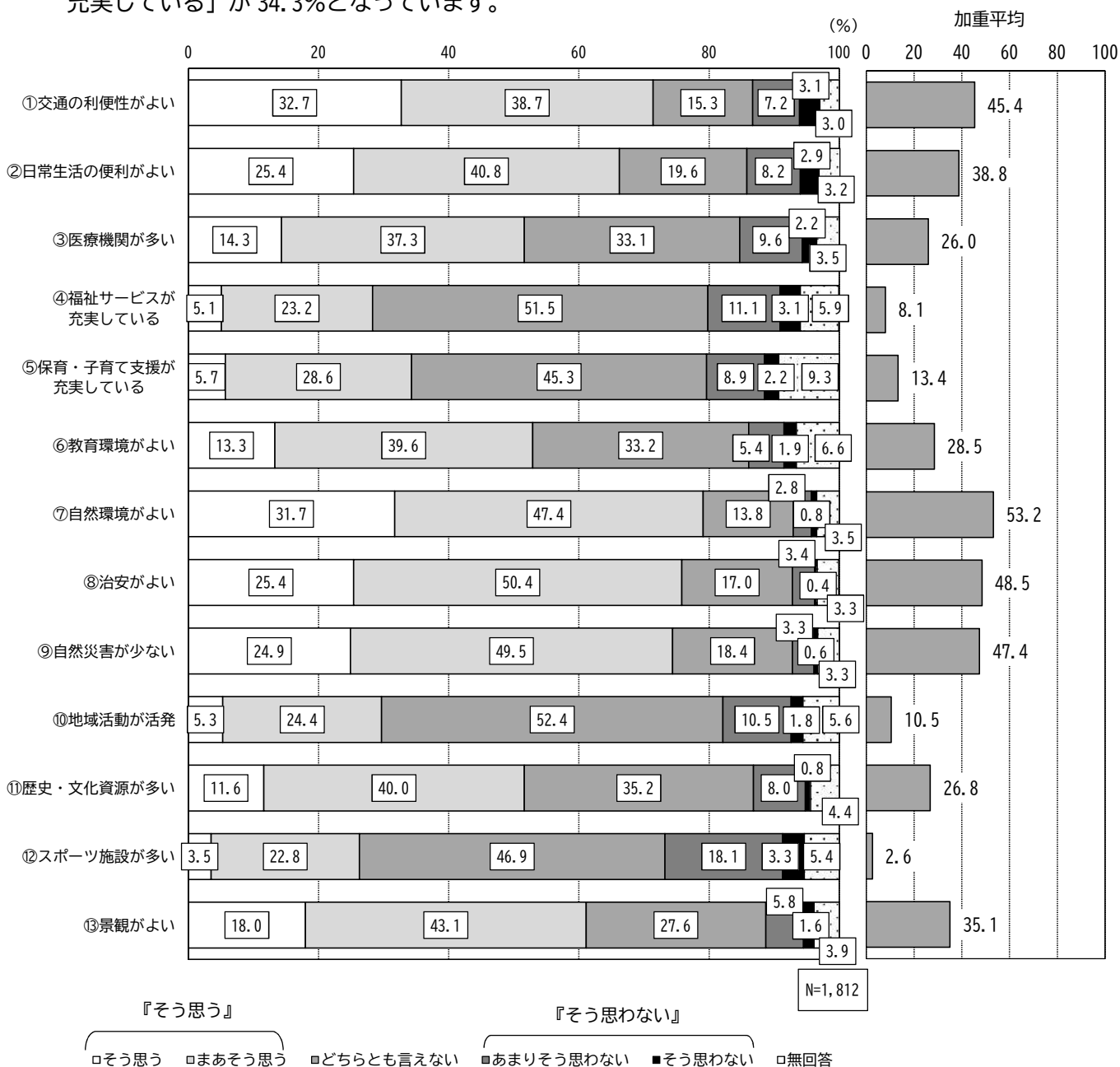
(2) 池田市のイメージについて

(質問)

池田市のイメージについて、どのようにお考えですか（あてはまる選択肢をそれぞれ1つ選択）。

○全体

- ・『そう思う』が多かったものから順に、「⑦自然環境がよい」が79.1%、「⑧治安がよい」が75.8%、「⑨自然災害が少ない」が74.4%、「①交通の利便性がよい」が71.4%、「②日常生活の便利がよい」が66.2%、「⑬景観がよい」が61.1%となっています。
- ・『そう思う』が少なかったものから順に、「⑫スポーツ施設が多い」が26.3%、「福祉サービスが充実している」が28.3%、「⑩地域活動が活発」が29.7%、「⑤保育・子育て支援が充実している」が34.3%となっています。



○性・年齢別（加重平均）

- ・「①交通の利便性がよい」、「②日常生活の便利がよい」、「⑥教育環境がよい」について、20～30代は、値が比較的低くなっています。

項目	全体	性別		年齢						
		男性	女性	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
①交通の利便性がよい	45.4	45.6	44.7	47.7	37.4	38.4	43.1	46.9	47.5	48.9
②日常生活の便利がよい	38.8	38.8	38.8	52.5	35.5	37.1	39.5	37.0	34.5	44.4
③医療機関が多い	26.0	26.5	25.7	16.7	25.6	18.7	19.6	24.0	24.9	37.2
④福祉サービスが充実している	8.1	8.9	7.1	-2.4	13.9	3.4	3.3	6.8	6.6	14.5
⑤保育・子育て支援が充実している	13.4	13.3	14.0	-4.7	12.3	15.3	11.7	12.7	12.2	17.3
⑥教育環境がよい	28.5	29.8	27.6	30.9	21.7	23.1	28.6	29.1	26.5	34.8
⑦自然環境がよい	53.2	53.7	53.3	54.8	48.8	51.9	54.0	55.8	52.4	54.2
⑧治安がよい	48.5	49.4	47.9	57.1	50.4	49.1	48.3	49.0	46.5	49.4
⑨自然災害が少ない	47.4	47.2	47.4	28.5	51.2	40.0	40.4	46.2	47.9	56.5
⑩地域活動が活発	10.5	10.6	10.1	4.8	4.5	9.6	7.5	11.6	10.1	14.8
⑪歴史・文化資源が多い	26.8	24.8	29.1	21.4	22.8	30.1	24.2	28.3	25.8	28.7
⑫スポーツ施設が多い	2.6	2.1	2.9	-2.4	-4.0	-1.6	-1.9	2.9	2.7	9.2
⑬景観がよい	35.1	36.3	34.0	26.2	27.6	30.3	32.7	37.3	37.0	38.6

○地域別（加重平均）

- ・ほそごう学園校区（旧細河）、ほそごう学園校区（旧伏尾台）、神田小学校区は、他の地域より全体的に値が低くなっています。
- ・「①交通の利便性がよい」、「②日常生活の便利がよい」については、ほそごう学園校区（旧細河）、ほそごう学園校区（旧伏尾台）、秦野小学校区、神田小学校区で特に値が低くなっています。

項目	全体	お住まいの小学校区										
		池田小学校区	秦野小学校区	北豊島小学校区	呉服小学校区	石橋小学校区	五月丘小学校区	石橋南小学校区	緑丘小学校区	神田小学校区	ほそごう学園校区(旧細河)	ほそごう学園校区(旧伏尾台)
①交通の利便性がよい	45.4	62.4	34.6	48.7	63.9	56.4	43.6	68.0	49.1	31.5	-8.5	11.6
②日常生活の便利がよい	38.8	56.2	28.7	42.7	57.4	48.5	20.6	59.0	49.6	32.8	-13.6	3.0
③医療機関が多い	26.0	36.8	25.8	26.8	37.5	28.3	23.1	27.0	29.3	17.6	2.3	8.7
④福祉サービスが充実している	8.1	15.6	7.5	2.3	13.3	7.8	5.4	10.5	9.4	5.8	1.7	5.8
⑤保育・子育て支援が充実している	13.4	18.2	12.2	12.7	16.9	9.8	12.8	18.5	25.9	9.4	1.1	12.8
⑥教育環境がよい	28.5	40.2	33.2	23.5	28.8	26.3	35.3	33.0	40.1	15.5	11.3	28.6
⑦自然環境がよい	53.2	63.8	58.8	41.3	54.2	43.3	72.1	38.0	59.1	42.5	58.5	65.2
⑧治安がよい	48.5	55.0	53.9	41.5	56.8	42.0	50.5	44.0	55.6	43.4	43.3	49.9
⑨自然災害が少ない	47.4	50.4	43.4	48.4	50.3	44.2	41.2	59.5	50.5	47.3	38.7	51.2
⑩地域活動が活発	10.5	14.4	10.7	9.1	13.6	8.8	8.3	9.5	15.0	7.9	5.2	13.9
⑪歴史・文化資源が多い	26.8	38.2	26.5	26.6	30.5	16.5	31.9	22.5	30.1	22.8	19.9	23.9
⑫スポーツ施設が多い	2.6	10.6	2.8	6.4	3.1	0.0	2.6	4.0	9.5	0.3	-10.3	-6.5
⑬景観がよい	35.1	45.0	47.1	23.7	34.0	25.0	53.0	23.5	40.9	25.2	35.2	41.8

○地域別（評価の高い3項目・加重平均）

- ・地域別に値が高い項目をみると、全11地域中、池田小学校区、秦野小学校区、五月丘小学校区、緑丘小学校区、ほそごう学園校区（旧細河）、ほそごう学園校区（旧伏尾台）の6地域で、「⑦自然環境がよい」が最も高くなっています。
- ・北豊島小学校区、呉服小学校区、石橋小学校区、石橋南小学校区は、「①交通の利便性がよい」が最も高くなっています。

地域	1	2	3
池田小学校区	⑦自然環境がよい 63.8	①交通の利便性がよい 62.4	②日常生活の便利がよい 56.2
秦野小学校区	⑦自然環境がよい 58.8	⑧治安がよい 53.9	⑬景観がよい 47.1
北豊島小学校区	①交通の利便性がよい 48.7	⑨自然災害が少ない 48.4	②日常生活の便利がよい 42.7
呉服小学校区	①交通の利便性がよい 63.9	②日常生活の便利がよい 57.4	⑧治安がよい 56.8
石橋小学校区	①交通の利便性がよい 56.4	②日常生活の便利がよい 48.5	⑨自然災害が少ない 44.2
五月丘小学校区	⑦自然環境がよい 72.1	⑬景観がよい 53.0	⑧治安がよい 50.5
石橋南小学校区	①交通の利便性がよい 68.0	⑨自然災害が少ない 59.5	②日常生活の便利がよい 59.0
緑丘小学校区	⑦自然環境がよい 59.1	⑧治安がよい 55.6	⑨自然災害が少ない 50.5
神田小学校区	⑨自然災害が少ない 47.3	⑧治安がよい 43.4	⑦自然環境がよい 42.5
ほそごう学園校区 （旧細河）	⑦自然環境がよい 58.5	⑧治安がよい 43.3	⑨自然災害が少ない 38.7
ほそごう学園校区 （旧伏尾台）	⑦自然環境がよい 65.2	⑨自然災害が少ない 51.2	⑧治安がよい 49.9
全体平均	⑦自然環境がよい 53.2	⑧治安がよい 48.5	⑨自然災害が少ない 47.4

※全体平均の上位3項目をそれぞれ網掛けしています。

○地域別（評価の低い3項目・加重平均）

- ・地域別に値が低い項目をみると、「⑫スポーツ施設が多い」が、北豊島小学校区、緑丘小学校区、ほそごう学園校区（旧細河）の3地域で、2番目に低くなっており、その他の全ての地域で、最も低くなっています。
- ・「②日常生活の便利がよい」は、全体平均では評価の高い項目ですが、ほそごう学園校区（旧細河）で最も低く、ほそごう学園校区（旧伏尾台）でも、2番目に低くなっています。

地域	1	2	3
池田小学校区	⑫スポーツ施設が多い 10.6	⑩地域活動が活発 14.4	④福祉サービスが充実している 15.6
秦野小学校区	⑫スポーツ施設が多い 2.8	④福祉サービスが充実している 7.5	⑩地域活動が活発 10.7
北豊島小学校区	④福祉サービスが充実している 2.3	⑫スポーツ施設が多い 6.4	⑩地域活動が活発 9.1
呉服小学校区	⑫スポーツ施設が多い 3.1	④福祉サービスが充実している 13.3	⑩地域活動が活発 13.6
石橋小学校区	⑫スポーツ施設が多い 0.0	④福祉サービスが充実している 7.8	⑩地域活動が活発 8.8
五月丘小学校区	⑫スポーツ施設が多い 2.6	④福祉サービスが充実している 5.4	⑩地域活動が活発 8.3
石橋南小学校区	⑫スポーツ施設が多い 4.0	⑩地域活動が活発 9.5	④福祉サービスが充実している 10.5
緑丘小学校区	④福祉サービスが充実している 9.4	⑫スポーツ施設が多い 9.5	⑩地域活動が活発 15.0
神田小学校区	⑫スポーツ施設が多い 0.3	④福祉サービスが充実している 5.8	⑩地域活動が活発 7.9
ほそごう学園校区 （旧細河）	②日常生活の便利がよい -13.6	⑫スポーツ施設が多い -10.3	①交通の利便性がよい -8.5
ほそごう学園校区 （旧伏尾台）	⑫スポーツ施設が多い -6.5	②日常生活の便利がよい 3.0	④福祉サービスが充実している 5.8
全体平均	⑫スポーツ施設が多い 2.6	④福祉サービスが充実している 8.1	⑩地域活動が活発 10.5

※全体平均の下位3項目をそれぞれ網掛けしています。

2. 4 市が目指してきた「まちの姿」について

(質問)

池田市では現在進行中の「第6次総合計画」では、6つの大きな政策ごとに合計41項目の取組を進めてきました。それぞれの項目に対して、「現在の達成状況」と、「これから約10年間の重要性」について、市民のみなさまから見た場合のお考えを教えてください（あてはまる選択肢をそれぞれ1つ選択）。

(1) 施策の現在の達成状況

○全体（加重平均）

- ・「現状の達成状況」の値が高い施策をみると、第3章第6節「上水道」が47.8と最も高く、第3章第7節「下水道」が36.2、第1章第3節「大阪国際空港」が33.6、第3章第2節「消防・救急」が32.8、第1章第1節「市街地整備」が24.5と続いています。
- ・「現状の達成状況」の値が低い施策をみると、第1章第8節「工業」が-4.7と最も低く、第6章第4節「情報通信技術」が-4.0、第6章第2節「財政」が-2.0、第4章第3節「公益活動」が-0.7、第1章第7節「商業」が-0.6と続いています。

「現在の達成状況」の上位10施策

	施策	現在の達成状況
1	上水道	47.8
2	下水道	36.2
3	大阪国際空港	33.6
4	消防・救急	32.8
5	市街地整備	24.5
6	自然・景観	23.1
7	住環境	22.4
8	葬儀	21.6
9	医療保険	19.3
10	地域医療	17.5

「現在の達成状況」の下位10施策

	施策	現在の達成状況
1	工業	-4.7
2	情報通信技術	-4.0
3	財政	-2.0
4	公益活動	-0.7
5	商業	-0.6
6	広域行政	-0.5
7	生活自立支援	-0.5
8	開かれた市政	0.9
9	労働・雇用	1.2
10	国際・地域交流	1.4

全 41 施策の「現在の達成状況」

章・節	現在の達成状況	
	そうなっている+ まあそうなっている	加重平均 (現在の達成度)
第1章 にぎわいと活力あふれるまち		
第1節 駅周辺を中心とした市街地の整備	54.7%	24.5
第2節 細河地域の活性化	31.8%	7.8
第3節 大阪国際空港の活用	63.6%	33.6
第4節 道路網の整備	40.9%	10.2
第5節 住宅の充実	48.9%	22.4
第6節 農園芸の振興	27.7%	2.8
第7節 商業の活性化	30.2%	-0.6
第8節 工業の振興	19.9%	-4.7
第9節 労働者施策の推進	22.2%	1.2
第10節 観光の振興	31.1%	4.5
第2章 みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
第1節 福祉社会の推進	26.9%	6.3
第2節 高齢者福祉・介護の充実	29.4%	8.4
第3節 障がい者福祉の充実	19.7%	2.4
第4節 少子化への対応と子育て支援	36.8%	13.3
第5節 生活自立支援の充実	17.0%	-0.5
第6節 保険衛生の充実	32.5%	11.3
第7節 市立池田病院を拠点とした地域医療体制の充実	42.7%	17.5
第8節 みんなで支える医療保険	43.4%	19.3
第9節 人権尊重の推進	31.3%	11.1
第10節 男女共同参画社会の実現	27.1%	8.8
第3章 人、環境にやさしい安全・安心なまち		
第1節 災害に強いまちづくり	40.2%	15.5
第2節 消防・救急救助体制の強化の活性化	59.5%	32.8
第3節 安心して快適に移動できるまちづくり	43.2%	15.0
第4節 環境にやさしいまちづくり	25.5%	4.4
第5節 良好な自然環境を生かしたまちづくり	50.6%	23.1
第6節 上水道事業の充実	75.1%	47.8
第7節 下水道事業の充実	62.7%	36.2
第8節 消費生活の充実	37.1%	16.6
第9節 安心して任せられる葬儀	39.9%	21.6
第4章 みんなでつくる分権で躍進するまち		
第1節 地域分権の推進	30.9%	9.5
第2節 コミュニティの活性化	24.5%	2.9
第3節 公益活動の促進	17.5%	-0.7
第5章 豊かな心を育む教育と文化のまち		
第1節 学校教育の充実	40.2%	17.2
第2節 学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興	36.7%	14.3
第3節 社会教育の振興	34.2%	10.8
第4節 市民文化の創造	22.3%	7.4
第5節 国際交流と地域交流の推進	21.3%	1.4
第6章 行財政改革を推進し希望の持てるまち		
第1節 開かれた市政の推進	21.9%	0.9
第2節 健全な行財政運営の推進	20.7%	-2.0
第3節 広域行政の推進	19.8%	-0.5
第4節 情報通信技術の活用	18.4%	-4.0

○性・年齢別（加重平均）

- ・性・年齢によって、現在の達成状況の評価にそれほど大きな差はありません。
- ・「16. 保健衛生」や「7. 商業」は、10～20 代の評価が比較的高くなっています。
- ・「70 歳以上」では、他の年代と比べて、全体的に評価の高い項目が多くなっています。
- ・「41. 情報通信技術」の評価は全体的に低く、「70 歳以上」を除く全ての年代で、マイナスの評価となっています。

施策	全体	性別		年齢						
		男性	女性	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
1. 市街地整備	24.5	24.8	25.0	26.2	28.8	24.4	26.3	22.5	22.9	25.9
2. 細河地域	7.8	7.5	8.0	9.6	9.9	5.4	4.7	6.5	6.2	12.2
3. 大阪国際空港	33.7	34.9	33.2	38.0	37.4	29.3	30.1	27.9	34.5	41.7
4. 道路	10.2	10.6	10.1	19.1	19.2	1.5	3.6	10.2	10.3	15.3
5. 住環境	22.3	23.4	21.6	23.8	26.4	23.2	20.4	23.2	19.6	23.9
6. 農園芸	2.9	1.6	4.4	-9.6	4.3	1.3	-5.4	4.2	4.4	7.4
7. 商業	-0.6	-1.7	1.1	11.9	7.1	6.0	-1.5	-2.9	-6.2	0.9
8. 工業	-4.8	-5.8	-3.4	-9.6	4.4	2.8	-1.6	-3.5	-8.1	-10.7
9. 労働・雇用	1.3	2.4	0.4	9.6	7.5	1.4	-2.1	1.8	1.5	1.5
10. 観光	4.6	2.2	7.6	7.2	12.2	11.7	9.5	7.9	0.0	-3.2
11. 地域福祉	6.3	6.3	6.6	2.4	14.6	7.2	2.6	6.7	3.1	8.7
12. 高齢福祉・介護	8.5	9.6	7.9	11.9	20.5	14.2	6.6	7.9	3.6	7.7
13. 障がい福祉	2.4	3.9	0.8	2.4	8.7	6.5	-0.8	1.7	-0.3	4.1
14. 子育て	13.4	12.7	14.8	19.0	15.9	9.8	14.0	12.3	9.3	17.2
15. 生活自立支援	-0.5	-0.2	-0.4	14.3	2.0	2.1	-0.5	-0.3	-4.4	-0.1
16. 保健衛生	11.4	11.5	11.8	26.2	20.1	14.8	10.1	11.3	5.3	12.2
17. 地域医療	17.5	17.9	17.8	14.3	22.1	15.1	16.5	15.1	13.1	23.8
18. 医療保険	19.3	19.3	20.1	19.0	25.2	16.9	13.7	16.8	13.4	29.2
19. 人権	11.1	13.1	8.9	16.7	6.3	10.0	9.8	9.5	8.2	16.9
20. 男女共同参画	8.8	10.3	8.2	23.8	15.5	8.6	7.6	9.1	4.5	10.8
21. 防災	15.5	17.1	14.4	7.1	18.5	10.6	10.5	11.6	19.1	22.6
22. 消防・救急	32.8	33.5	32.8	23.8	33.5	26.7	29.3	30.8	30.7	41.6
23. 交通	14.9	16.4	13.6	23.9	21.3	8.3	13.4	13.8	11.9	19.8
24. 環境保全	4.5	4.9	4.3	-0.1	0.3	3.7	0.4	3.3	6.0	9.0
25. 自然・景観	23.0	23.3	23.1	19.1	24.8	21.8	23.5	20.8	21.6	26.4
26. 上水道	47.9	47.4	49.2	54.8	49.6	43.5	48.1	44.9	44.7	55.0
27. 下水道	36.3	36.5	36.5	40.5	38.7	33.2	36.4	31.4	35.0	42.8
28. 消費生活	16.7	15.3	18.7	12.0	17.7	14.3	14.1	14.1	15.0	23.1
29. 葬儀	21.7	19.7	24.0	19.1	21.7	13.8	15.1	20.7	21.1	31.0
30. 地域分権	9.5	9.6	10.3	0.0	14.1	8.5	6.8	11.3	4.3	13.2
31. コミュニティ	2.9	2.6	3.5	-9.5	3.7	2.7	-0.6	2.9	1.7	6.5
32. 公益活動	-0.8	-0.4	-1.2	-9.5	2.9	0.0	-3.6	-1.9	-2.1	2.3
33. 学校教育	17.2	19.0	15.9	4.8	15.1	16.8	15.5	18.2	16.1	20.4
34. 地域教育	14.4	14.7	14.6	21.5	15.9	13.0	15.1	14.3	8.5	18.1
35. 社会教育	10.8	8.4	13.8	9.5	17.3	8.3	8.8	11.2	6.7	14.2
36. 文化	1.5	2.1	1.2	-19.1	4.0	-3.6	-0.7	1.8	0.1	6.0
37. 国際・地域交流	1.4	-0.7	4.1	9.5	4.7	0.3	-1.0	1.1	-2.8	5.2
38. 開かれた市政	1.0	1.4	0.9	4.8	1.7	0.2	-1.0	0.0	-3.1	6.3
39. 財政	-2.0	-1.9	-1.9	-11.9	0.9	-2.1	-3.6	-4.6	-4.5	3.1
40. 広域行政	-0.5	-1.4	0.5	-12.0	1.7	-1.6	-4.1	-2.9	-1.6	5.0
41. 情報通信技術	-4.0	-6.7	-0.5	-14.3	-1.2	-8.3	-8.7	-5.2	-1.7	1.0

○地域別（加重平均）

- ・地域による評価の差は、「7. 商業」や「23. 交通」、「5. 住環境」などで大きく、「7. 商業」は、ほそごう学園校区（旧細河）、ほそごう学園校区（旧細河旧伏尾台）、五月丘小学校区で値が低く、石橋南小学校区、石橋小学校区、北豊島小学校区で値が高くなっています。
- ・「23. 交通」は、ほそごう学園校区（旧細河）、ほそごう学園校区（旧細河旧伏尾台）、神田小学校区で値が低く、呉服小学校区、池田小学校区、緑丘小学校区、石橋南小学校区などで値が高くなっています。
- ・「5. 住環境」は、ほそごう学園校区（旧細河）で値が低く、池田小学校区、呉服小学校区、緑丘小学校区、五月丘小学校区などで値が高くなっています。

施策	全体	お住まいの小学校区										
		池田小学校区	秦野小学校区	北豊島小学校区	呉服小学校区	石橋小学校区	五月丘小学校区	石橋南小学校区	緑丘小学校区	神田小学校区	ほそごう学園校区(旧細河)	ほそごう学園校区(旧伏尾台)
1. 市街地整備	24.5	32.2	24.2	24.5	33.0	24.8	16.7	32.5	22.9	20.0	10.2	19.2
2. 細河地域	7.8	7.8	10.0	6.1	6.0	6.4	7.5	9.5	7.4	9.4	5.1	6.4
3. 大阪国際空港	33.7	36.2	33.7	35.2	39.1	34.2	32.9	37.5	30.6	33.0	29.0	28.0
4. 道路	10.2	12.2	7.0	11.6	16.1	14.7	8.9	19.0	9.1	8.9	-2.3	4.6
5. 住環境	22.3	30.6	23.9	18.2	26.9	23.7	25.6	23.0	26.3	15.5	6.9	18.0
6. 農園芸	2.9	0.8	6.8	-1.7	3.6	2.7	6.4	2.0	0.0	6.1	2.9	5.9
7. 商業	-0.6	-1.4	-6.1	12.1	-0.9	12.3	-16.7	20.5	-1.8	-4.0	-17.7	-14.6
8. 工業	-4.8	-1.6	-8.1	-4.2	2.2	2.4	-11.8	-3.5	-5.6	-2.5	-15.9	-13.9
9. 労働・雇用	1.3	4.0	-0.3	0.3	4.4	2.9	2.0	8.0	-0.4	-2.5	-1.8	-5.8
10. 観光	4.6	14.6	-0.9	-5.3	15.4	1.7	7.8	2.5	3.1	9.1	-7.4	4.7
11. 地域福祉	6.3	11.2	6.2	1.5	14.4	6.7	2.9	8.5	4.7	5.5	1.7	1.2
12. 高齢福祉・介護	8.5	14.8	7.2	3.9	14.6	10.1	8.4	9.0	9.0	8.2	2.4	-1.2
13. 障がい福祉	2.4	9.8	1.3	-3.7	6.8	2.4	4.5	0.0	1.3	0.7	0.6	-0.6
14. 子育て	13.4	18.8	11.1	11.6	13.1	10.4	14.7	15.0	18.5	13.7	8.0	12.3
15. 生活自立支援	-0.5	2.8	-0.9	-6.6	1.4	-0.5	4.3	3.0	1.4	-1.2	-5.2	-1.7
16. 保健衛生	11.4	15.2	11.1	6.1	19.7	13.6	11.3	13.5	18.1	5.4	3.4	7.0
17. 地域医療	17.5	23.4	18.8	14.9	22.9	21.0	15.2	24.0	24.2	6.3	10.2	12.8
18. 医療保険	19.3	24.4	18.3	16.0	26.7	20.3	21.6	23.5	21.6	16.5	11.9	14.1
19. 人権	11.1	16.6	11.5	6.3	17.9	5.8	13.7	13.0	12.9	5.1	0.6	18.7
20. 男女共同参画	8.8	13.2	8.6	6.4	15.5	4.5	9.8	8.0	14.2	4.8	5.8	12.8
21. 防災	15.5	19.4	12.7	10.7	21.3	11.5	11.3	19.5	19.3	15.5	14.7	25.0
22. 消防・救急	32.8	38.4	29.4	32.5	40.5	24.5	33.4	30.5	36.7	34.7	29.0	34.4
23. 交通	14.9	22.2	13.8	17.4	23.7	19.7	12.7	21.0	21.6	4.5	-1.8	3.0
24. 環境保全	4.5	9.0	4.1	-1.2	9.6	2.9	9.8	6.0	4.8	1.5	0.0	0.0
25. 自然・景観	23.0	29.6	23.7	17.6	25.3	17.0	32.3	24.0	31.0	18.3	15.9	25.0
26. 上水道	47.9	50.0	48.1	49.7	52.2	40.8	40.7	51.5	53.9	51.6	48.3	50.0
27. 下水道	36.3	39.4	34.6	37.7	38.3	31.7	32.4	44.5	41.8	34.9	34.7	41.3
28. 消費生活	16.7	19.6	15.4	12.4	23.4	15.2	16.7	20.5	22.9	14.9	12.5	15.7
29. 葬儀	21.7	22.8	18.8	22.9	30.2	17.8	17.2	22.5	21.5	21.0	32.4	18.0
30. 地域分権	9.5	12.2	12.0	3.6	16.3	10.4	8.4	10.5	10.4	7.3	4.1	5.2
31. コミュニティ	2.9	3.6	5.2	-6.9	8.5	5.3	3.0	5.5	7.4	-0.4	-3.4	6.5
32. 公益活動	-0.8	1.0	-0.7	-6.3	5.4	-0.5	-2.0	4.0	1.8	-2.4	-4.6	-4.1
33. 学校教育	17.2	24.2	15.9	9.1	21.8	12.5	23.1	19.5	21.1	14.6	13.1	19.2
34. 地域教育	14.4	21.4	14.6	7.5	17.7	10.5	12.7	18.0	22.8	10.0	9.7	17.5
35. 社会教育	10.8	16.4	8.1	7.7	16.1	6.7	13.3	16.0	14.2	11.3	3.4	4.7
36. 文化	1.5	8.0	1.9	-8.5	4.6	-1.6	0.1	5.0	3.0	0.3	-1.8	-1.2
37. 国際・地域交流	1.4	6.6	1.8	-3.4	7.9	-4.5	-0.9	8.0	3.4	0.0	-7.4	-1.7
38. 開かれた市政	1.0	2.0	3.2	-1.9	5.7	-2.9	-4.0	8.0	6.0	0.7	-1.8	-2.4
39. 財政	-2.0	3.4	-1.8	-7.2	5.0	-2.4	-8.4	6.0	0.1	-3.7	-9.1	-8.1
40. 広域行政	-0.5	2.6	-1.1	-3.0	6.8	-1.7	-6.9	7.0	3.0	-2.4	-6.3	-2.9
41. 情報通信技術	-4.0	-2.2	-3.6	-8.5	-0.1	-7.5	-8.3	2.5	0.5	-3.4	-8.0	-7.0

○地域別（評価の低い5項目・加重平均）

- ・地域別に値が低い施策をみると、「7. 商業」は、全体平均で下から5番目の評価ですが、呉服小学校区、五月丘小学校区、神田小学校区、ほそごう学園校区（旧細河）、ほそごう学園校区（旧伏尾台）では最も低い評価となっています。また、秦野小学校区、緑丘小学校区では下から2番目の評価になっています。
- ・「13. 障がい福祉」は、全体平均で下から12番目の評価ですが、石橋南小学校区では下から2番目の評価となっています。
- ・「36. 文化」は、全体平均で下から11番目の評価ですが、北豊島小学校区では下から2番目の評価となっています。
- ・「6. 農園芸」は、全体平均で下から13番目の評価ですが、石橋南小学校区、池田小学校区、緑丘小学校区、呉服小学校区では、下から3～5番目の評価となっています。
- ・「15. 生活自立支援」は、全体平均で下から7番目の評価ですが、呉服小学校区では下から3番目の評価となっています。

地域	1	2	3	4	5
池田小学校区	情報通信技術 -2.2	工業 -1.6	商業 -1.4	農園芸 0.8	公益活動 1.0
秦野小学校区	工業 -8.1	商業 -6.1	情報通信技術 -3.6	財政 -1.8	広域行政 -1.1
北豊島小学校区	情報通信技術 -8.5	文化 -8.5	財政 -7.2	コミュニティ -6.9	生活自立支援 -6.6
呉服小学校区	商業 -0.9	情報通信技術 -0.1	生活自立支援 1.4	工業 2.2	農園芸 3.6
石橋小学校区	情報通信技術 -7.5	国際・地域交流	開かれた市政 -2.9	財政 -2.4	広域行政 -1.7
五月丘小学校区	商業 -16.7	工業 -11.8	財政 -8.4	情報通信技術 -8.3	広域行政 -6.9
石橋南小学校区	工業 -3.5	障がい福祉 0.0	農園芸 2.0	観光 2.5	情報通信技術 2.5
緑丘小学校区	工業 -5.6	商業 -1.8	労働・雇用 -0.4	農園芸 0.0	財政 0.1
神田小学校区	商業 -4.0	財政 -3.7	情報通信技術 -3.4	工業 -2.5	労働・雇用 -2.5
ほそごう学園校区 （旧細河）	商業 -17.7	工業 -15.9	財政 -9.1	情報通信技術 -8.0	観光 -7.4
ほそごう学園校区 （旧伏尾台）	商業 -14.6	工業 -13.9	財政 -8.1	情報通信技術 -7.0	労働・雇用 -5.8
全体平均	工業 -4.7	情報通信技術 -4.0	財政 -2.0	公益活動 -0.7	商業 -0.6

※全体平均の下位5施策をそれぞれ網掛けしています。

(2) 施策のこれから約10年間での重要性

○全体（加重平均）

- ・「これから約10年間での重要性」の値が高い施策をみると、3章1節「防災」が75.0と最も高く、3章2節「消防・救急」が74.3、2章7節「地域医療」が70.8、3章7節「下水道」が70.5、2章8節「医療保険」が69.8と続いています。
- ・「これから約10年間での重要性」の値が低い施策をみると、1章2節「細河地域」が22.1と最も低く、1章6節「農園芸」が26.9、1章8節「工業」が29.2、4章3節「公益活動」が31.1、5章5節「国際・地域交流」が32.9と続いています。

「これから約10年間での重要性」上位10施策

	施策	これから約10年間での重要性
1	防災	75.0
2	消防・救急	74.3
3	地域医療	70.8
4	下水道	70.5
5	医療保険	69.8
6	上水道	68.2
7	子育て	67.7
8	学校教育	67.1
9	市街地整備	67.1
10	交通	65.0

「これから約10年間での重要性」下位10施策

	施策	これから約10年間での重要性
1	細河地域	22.1
2	農園芸	26.9
3	工業	29.2
4	公益活動	31.1
5	国際・地域交流	32.9
6	観光	34.7
7	文化	37.7
8	コミュニティ	40.5
9	地域分権	43.7
10	社会教育	48.4

全 41 施策の「これから約 10 年間の重要性」

章・節	これから約 10 年間の重要性	
	重要+ やや重要	加重平均 (今後の重要度)
第1章 にぎわいと活力あふれるまち		
第1節 駅周辺を中心とした市街地の整備	87.7%	67.1
第2節 細河地域の活性化	44.8%	22.1
第3節 大阪国際空港の活用	77.5%	55.0
第4節 道路網の整備	83.9%	62.3
第5節 住宅の充実	80.9%	57.8
第6節 農園芸の振興	51.0%	26.9
第7節 商業の活性化	78.6%	54.1
第8節 工業の振興	53.0%	29.2
第9節 労働者施策の推進	80.3%	60.4
第10節 観光の振興	60.3%	34.7
第2章 みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
第1節 福祉社会の推進	83.2%	60.5
第2節 高齢者福祉・介護の充実	83.3%	60.3
第3節 障がい者福祉の充実	77.6%	54.3
第4節 少子化への対応と子育て支援	86.0%	67.7
第5節 生活自立支援の充実	76.1%	54.4
第6節 保険衛生の充実	80.9%	58.1
第7節 市立池田病院を拠点とした地域医療体制の充実	89.2%	70.8
第8節 みんなで支える医療保険	87.7%	69.8
第9節 人権尊重の推進	75.2%	54.5
第10節 男女共同参画社会の実現	73.7%	52.1
第3章 人、環境にやさしい安全・安心なまち		
第1節 災害に強いまちづくり	90.3%	75.0
第2節 消防・救急救助体制の強化の活性化	89.3%	74.3
第3節 安心して快適に移動できるまちづくり	86.4%	65.0
第4節 環境にやさしいまちづくり	76.0%	53.1
第5節 良好な自然環境を生かしたまちづくり	81.4%	57.8
第6節 上水道事業の充実	86.2%	68.2
第7節 下水道事業の充実	88.3%	70.5
第8節 消費生活の充実	74.2%	51.8
第9節 安心して任せられる葬儀	69.2%	48.5
第4章 みんなでつくる分権で躍進するまち		
第1節 地域分権の推進	67.9%	43.7
第2節 コミュニティの活性化	66.2%	40.5
第3節 公益活動の促進	53.5%	31.1
第5章 豊かな心を育む教育と文化のまち		
第1節 学校教育の充実	85.1%	67.1
第2節 学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興	80.0%	59.8
第3節 社会教育の振興	72.5%	48.4
第4節 市民文化の創造	67.7%	37.7
第5節 国際交流と地域交流の推進	55.3%	32.9
第6章 行財政改革を推進し希望の持てるまち		
第1節 開かれた市政の推進	75.3%	51.9
第2節 健全な行財政運営の推進	82.1%	62.1
第3節 広域行政の推進	77.6%	55.6
第4節 情報通信技術の活用	75.6%	55.0

○性・年代別（加重平均）

- ・全体的に、男性より女性の方がやや評価が高い傾向があります。特に、「28. 消費生活」や「29. 葬儀」、「24. 環境保全」、「6. 農園芸」で女性の評価が男性より高くなっています。
- ・年代による評価の差は、「1. 市街地整備」や「9. 労働・雇用」、「29. 葬儀」、「31. コミュニティ」などで大きくなっています。
- ・「1. 市街地整備」や「9. 労働・雇用」は、若い年代の値が高くなっています。
- ・「29. 葬儀」では19歳以下を除き、高齢の年代ほど値が高くなっています。

施策	全体	性別		年齢						
		男性	女性	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1. 市街地整備	67.1	68.6	66.0	83.3	75.3	73.6	71.0	71.3	64.0	58.3
2. 細河地域	22.1	21.4	23.0	35.7	25.2	16.9	17.6	17.7	25.3	28.3
3. 大阪国際空港	55.0	56.1	54.4	62.0	56.3	53.5	55.5	54.7	55.9	55.4
4. 道路	62.4	62.2	63.5	71.5	62.2	67.6	64.7	64.1	60.3	59.6
5. 住環境	57.7	58.1	58.0	57.1	59.9	60.1	61.5	59.7	56.2	54.3
6. 農園芸	26.9	23.0	31.0	35.8	25.2	23.8	23.5	24.5	25.8	33.6
7. 商業	54.2	52.7	55.7	59.5	48.1	51.3	56.1	56.1	55.8	53.5
8. 工業	29.3	30.0	28.5	31.0	31.5	30.1	30.3	31.3	23.9	30.1
9. 労働・雇用	60.5	58.1	63.4	78.6	65.7	66.5	63.9	62.6	57.2	54.1
10. 観光	34.7	32.6	37.7	38.1	38.2	37.9	39.7	35.5	32.6	30.5
11. 地域福祉	60.6	59.0	62.5	64.3	54.3	56.2	62.2	65.4	59.1	60.7
12. 高齢福祉・介護	60.3	58.7	62.5	61.9	50.4	53.8	61.4	64.7	59.1	63.1
13. 障がい福祉	54.3	53.3	55.8	71.4	48.8	53.6	52.7	57.6	51.1	56.6
14. 子育て	67.7	68.8	66.9	78.6	76.4	78.3	69.5	67.4	63.5	62.7
15. 生活自立支援	54.4	51.7	57.9	62.0	55.5	51.8	52.4	55.2	52.9	56.9
16. 保健衛生	58.1	56.7	60.5	69.1	59.1	58.9	58.8	59.7	54.0	58.8
17. 地域医療	70.8	70.2	71.9	78.6	74.5	73.3	72.2	71.4	68.0	69.3
18. 医療保険	69.8	67.7	72.7	83.3	69.3	71.0	68.9	71.5	66.7	70.7
19. 人権	54.5	51.9	57.6	66.7	55.9	51.3	55.7	54.6	51.5	57.1
20. 男女共同参画	52.1	49.3	55.3	59.5	56.3	51.0	52.1	52.5	50.0	52.7
21. 防災	75.1	73.2	78.0	85.7	75.2	76.4	74.9	77.6	73.8	73.7
22. 消防・救急	74.3	72.4	77.2	83.4	70.9	74.4	72.5	76.1	73.6	76.1
23. 交通	65.0	62.2	68.0	71.4	65.0	67.6	64.8	65.0	63.1	65.6
24. 環境保全	53.1	49.2	57.3	57.2	55.5	49.0	48.7	54.2	54.2	55.9
25. 自然・景観	57.8	56.0	59.9	64.3	55.9	54.9	57.1	58.0	57.9	60.1
26. 上水道	68.2	66.0	71.2	76.2	61.8	66.3	67.6	67.1	67.6	72.8
27. 下水道	70.6	68.2	73.2	80.9	66.2	67.3	72.4	70.2	70.9	72.1
28. 消費生活	51.8	47.5	56.4	45.3	49.6	50.0	49.3	51.3	49.7	57.1
29. 葬儀	48.6	44.0	53.4	59.6	38.6	36.5	46.9	49.0	49.5	56.5
30. 地域分権	43.7	42.8	44.9	33.3	45.7	37.6	43.6	43.5	40.1	49.3
31. コミュニティ	40.7	39.7	41.6	26.2	37.4	33.7	38.7	39.9	41.6	46.4
32. 公益活動	31.2	30.3	31.9	30.9	28.1	22.3	26.5	29.9	31.9	39.6
33. 学校教育	67.2	67.2	67.8	69.1	65.8	74.1	68.6	68.1	65.6	64.8
34. 地域教育	59.8	59.4	61.0	66.7	58.2	69.5	61.7	58.4	56.1	59.0
35. 社会教育	48.4	47.2	50.1	57.2	51.2	50.5	49.0	45.3	45.9	50.8
36. 文化	37.8	36.0	39.5	26.2	34.6	34.6	35.0	36.0	38.5	43.5
37. 国際・地域交流	33.0	30.6	35.8	23.8	37.8	29.3	29.9	29.1	33.7	38.9
38. 開かれた市政	51.9	52.5	51.4	64.3	48.0	52.6	50.5	53.5	50.7	53.3
39. 財政	62.2	62.3	62.2	69.1	61.4	67.9	61.7	66.0	61.3	57.4
40. 広域行政	55.6	55.1	56.6	64.4	53.9	58.3	52.9	61.4	55.3	52.6
41. 情報通信技術	54.9	55.4	54.5	59.6	56.7	64.0	57.2	57.9	48.9	50.6

○地域別（加重平均）

- ・地域による評価の差は、「2. 細河地域」や「6. 農園芸」、「7. 商業」などで大きくなっていますが、「現在の達成状況」と比較すると、地域による評価の差は小さくなっています。
- ・「2. 細河地域」では、ほそごう学園校区（旧細河）、ほそごう学園校区（旧伏尾台）で値が特に高くなっています。
- ・「6. 農園芸」では、ほそごう学園校区（旧細河）で値が特に高くなっています。
- ・「7. 商業」では、北豊島小学校区、池田小学校区で値が大きく、神田小学校区で値が低くなっています。

施策	全体	お住まいの小学校区										
		池田 小学校区	秦野 小学校区	北豊島 小学校区	呉服 小学校区	石橋 小学校区	五月丘 小学校区	石橋南 小学校区	緑丘 小学校区	神田 小学校区	ほそごう 学園校区 (旧細河)	ほそごう 学園校区 (旧伏尾台)
1. 市街地整備	67.1	70.2	71.3	65.7	69.3	66.8	69.6	68.0	63.4	68.5	63.1	70.4
2. 細河地域	22.1	22.6	20.1	21.3	19.6	21.8	18.1	22.5	18.6	17.6	36.5	37.8
3. 大阪国際空港	55.0	52.0	60.1	57.8	58.7	52.0	53.9	60.5	54.3	55.5	56.3	56.9
4. 道路	62.4	65.8	65.0	66.0	65.2	62.5	61.8	63.0	56.5	60.9	65.9	66.9
5. 住環境	57.7	63.8	60.0	58.4	60.1	58.6	54.9	60.0	55.2	56.4	54.6	58.7
6. 農園芸	26.9	24.8	28.3	30.0	25.0	25.9	22.0	25.5	31.1	24.6	41.0	27.4
7. 商業	54.2	60.6	51.6	62.5	56.8	54.5	53.0	54.5	50.4	45.8	57.5	58.7
8. 工業	29.3	33.2	27.7	31.1	30.7	23.8	21.5	30.0	32.3	31.0	37.0	31.4
9. 労働・雇用	60.5	61.8	62.0	62.5	61.5	61.1	57.8	58.0	62.1	58.8	66.6	63.4
10. 観光	34.7	41.4	36.7	27.8	39.7	30.9	37.7	28.5	38.8	32.2	44.9	37.8
11. 地域福祉	60.6	64.4	62.0	66.5	62.0	58.5	62.3	63.5	63.4	53.3	62.5	60.5
12. 高齢福祉・介護	60.3	63.8	61.1	63.3	63.4	60.4	62.8	61.5	59.5	53.3	63.7	64.0
13. 障がい福祉	54.3	58.0	60.2	58.9	53.8	51.9	54.0	55.0	57.8	50.0	55.7	52.9
14. 子育て	67.7	71.2	69.0	69.5	70.1	66.2	68.7	67.5	66.8	69.1	70.5	72.7
15. 生活自立支援	54.4	55.2	59.0	60.8	53.6	52.9	52.0	54.0	48.3	51.2	59.8	55.8
16. 保健衛生	58.1	60.4	63.4	61.7	57.6	58.0	59.9	59.0	57.3	53.3	57.9	59.8
17. 地域医療	70.8	73.2	71.0	71.7	70.4	70.8	70.6	75.5	69.9	69.4	73.4	73.9
18. 医療保険	69.8	69.2	73.5	74.8	68.5	69.7	68.2	72.5	69.8	66.7	71.6	72.7
19. 人権	54.5	55.8	59.9	58.1	54.1	52.9	55.4	58.0	52.1	48.2	64.3	54.7
20. 男女共同参画	52.1	54.4	54.6	52.8	52.3	53.7	50.0	53.5	49.6	47.9	60.2	52.8
21. 防災	75.1	74.4	78.3	79.7	77.5	74.2	76.0	76.0	73.3	74.9	80.7	74.5
22. 消防・救急	74.3	72.8	77.8	80.2	75.3	69.7	75.5	77.5	72.4	74.9	79.6	76.2
23. 交通	65.0	64.0	69.2	66.3	68.8	60.5	64.3	65.0	61.2	65.1	70.5	69.2
24. 環境保全	53.1	51.0	54.8	57.2	52.4	53.7	54.4	54.5	55.2	50.3	60.9	50.0
25. 自然・景観	57.8	55.4	61.2	61.1	56.5	58.0	63.2	61.0	57.7	55.5	61.4	58.7
26. 上水道	68.2	66.8	73.5	72.0	67.9	66.0	67.1	75.0	68.2	67.9	64.8	69.2
27. 下水道	70.6	70.0	72.8	75.1	69.9	69.7	74.5	74.5	69.4	71.5	66.6	71.5
28. 消費生活	51.8	51.0	53.8	54.4	52.2	49.5	52.9	52.0	47.0	54.8	58.6	51.2
29. 葬儀	48.6	46.6	52.5	58.1	45.3	46.0	44.2	46.5	46.6	49.7	54.6	46.0
30. 地域分権	43.7	43.0	49.8	49.8	41.9	42.0	41.7	40.0	44.9	41.0	46.6	45.4
31. コミュニティ	40.7	41.4	45.5	44.3	36.4	41.0	41.7	42.0	44.0	32.8	40.3	46.6
32. 公益活動	31.2	31.8	34.6	34.1	25.2	31.9	38.2	32.0	34.1	28.2	34.2	29.7
33. 学校教育	67.2	69.8	68.1	67.4	69.9	66.0	73.5	63.0	65.6	68.8	68.8	73.2
34. 地域教育	59.8	63.2	59.7	60.2	64.7	59.9	61.8	56.5	60.4	59.7	62.0	60.5
35. 社会教育	48.4	52.6	46.1	48.4	51.1	43.9	54.0	47.5	52.6	47.0	54.6	46.5
36. 文化	37.8	42.8	39.4	37.7	37.3	36.2	39.3	36.0	37.1	34.3	41.6	33.7
37. 国際・地域交流	33.0	34.6	33.5	32.3	36.2	28.2	39.7	34.5	36.6	29.5	38.7	29.0
38. 開かれた市政	51.9	54.2	50.7	51.5	54.9	49.5	52.0	55.0	55.6	50.1	59.1	50.0
39. 財政	62.2	61.6	62.8	61.9	66.9	57.8	64.7	63.5	62.1	60.0	67.7	65.7
40. 広域行政	55.6	55.8	58.0	57.2	56.8	51.3	53.4	61.5	55.6	53.1	64.8	59.3
41. 情報通信技術	54.9	57.4	55.7	53.6	56.0	51.7	59.3	58.0	55.2	55.5	57.9	54.1

○地域別の上位5施策（加重平均）

- ・地域別に値が高い施策をみると、どの地域も全体平均に近い順位となっています。
- ・「14. 子育て」は全体平均で上から7番目の評価ですが、池田小学校区では上から4番目、神田小学校区、ほそごう学園校区（旧細河）では上から5番目の評価となっています。
- ・「33. 学校教育」は全体平均で上から8番目の評価ですが、五月丘小学校区では上から4番目の評価となっています。

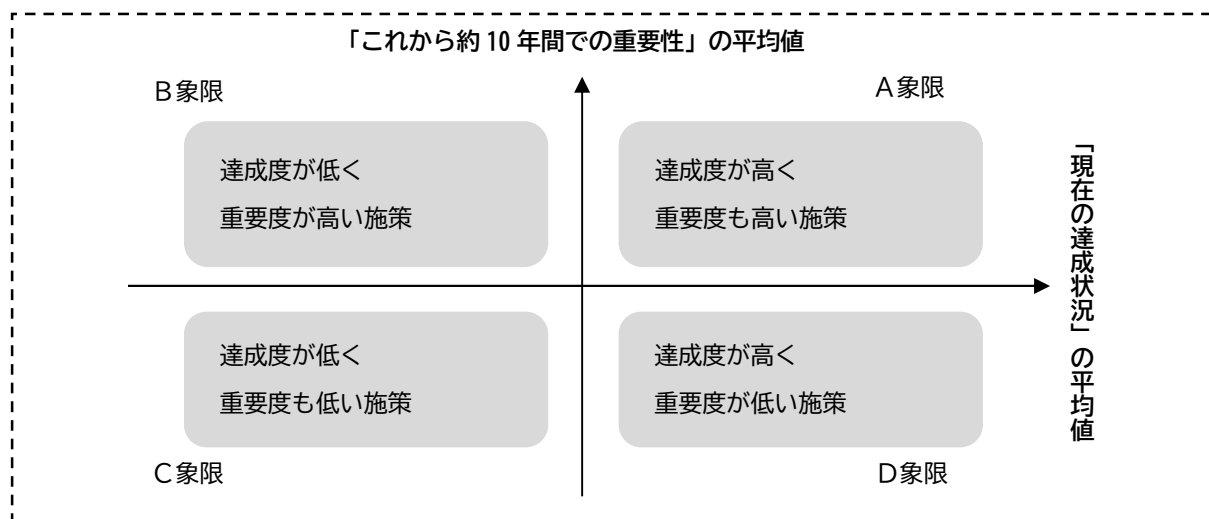
地域	1	2	3	4	5
池田小学校区	防災 74.4	地域医療 73.2	消防・救急 72.8	子育て 71.2	市街地整備 70.2
秦野小学校区	防災 78.3	消防・救急 77.8	医療保険 73.5	上水道 73.5	下水道 72.8
北豊島小学校区	消防・救急 80.2	防災 79.7	下水道 75.1	医療保険 74.8	上水道 72.0
呉服小学校区	防災 77.5	消防・救急 75.3	地域医療 70.4	子育て 70.1	下水道 69.9
石橋小学校区	防災 74.2	地域医療 70.8	医療保険 69.7	消防・救急 69.7	下水道 69.7
五月丘小学校区	防災 76.0	消防・救急 75.5	下水道 74.5	学校教育 73.5	地域医療 70.6
石橋南小学校区	消防・救急 77.5	防災 76.0	地域医療 75.5	上水道 75.0	下水道 74.5
緑丘小学校区	防災 73.3	消防・救急 72.4	地域医療 69.9	医療保険 69.8	下水道 69.4
神田小学校区	防災 74.9	消防・救急 74.9	下水道 71.5	地域医療 69.4	子育て 69.1
ほそごう学園校区 （旧細河）	防災 80.7	消防・救急 79.6	地域医療 73.4	医療保険 71.6	子育て 70.5
ほそごう学園校区 （旧伏尾台）	消防・救急 76.2	防災 74.5	地域医療 73.9	学校教育 73.2	医療保険 72.7
全体平均	防災 75.0	消防・救急 74.3	地域医療 70.8	下水道 70.5	医療保険 69.8

※全体平均の上位5施策をそれぞれ網掛けしています。

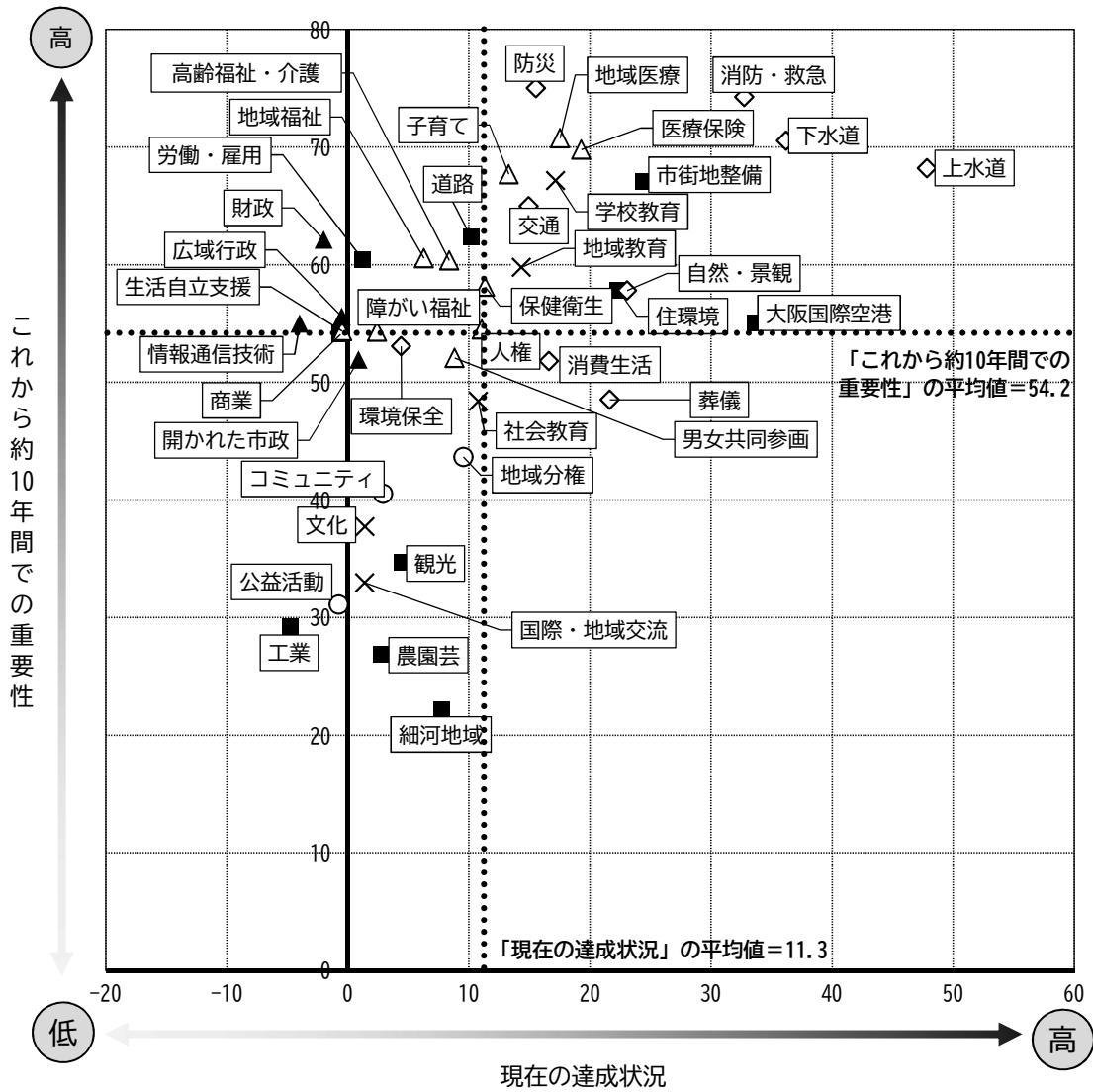
(3) 施策の達成度及び重要度

各施策の「現在の達成状況」と「これから約10年間での重要性」を、それぞれの平均値と比較して4つの象限に分類したものを、次ページに示します。

この分類により、A象限には「達成度が高く、重要度も高い施策」、B象限には「達成度が低く、重要度が高い施策」、C象限には「達成度が低く、重要度も低い施策」、そしてD象限には「達成度が高く、重要度が低い施策」が、分布することとなります。



- ・ A象限の「達成度が高く、重要度も高い施策」としては、「上水道」、「下水道」、「消防・救急」、「市街地整備」などがあります。
- ・ B象限の「達成度が低く、重要度が高い施策」としては、「財政」、「労働・雇用」などがあります。
- ・ C象限の「達成度が低く、重要度も低い施策」としては、「工業」、「公益活動」、「国際・地域交流」、「農園芸」などがあります。
- ・ D象限の「達成度が高く、重要度が低い施策」としては、「葬儀」、「消費生活」があります。



(凡例)

- ：第1章 にぎわいと活力あふれるまち
- △：第2章 みんなが健康でいきいきと暮らせるまち
- ◇：第3章 人、環境にやさしい安全・安心なまち
- ：第4章 みんなでつくる分権で躍進するまち
- ×：第5章 豊かな心を育む教育と文化のまち
- ▲：第6章 行財政改革を推進し希望の持てるまち

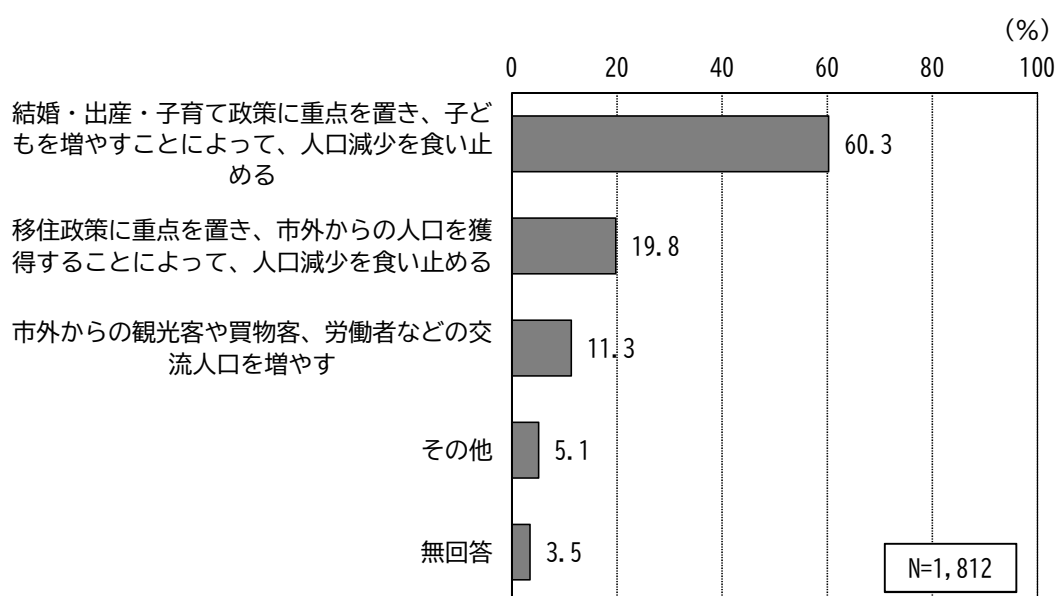
2.5 これからのまちづくりについて

(1) 今後実施すべき人口減少への対応政策

(質問)

日本全体で人口減少が進んでいますが、池田市も例外ではなく、現在の約103,666人から2045年には90,000人を下回るとい推計データもあります。そのような中で、池田市は今後どのような政策をとっていきべきだと思いますか（あてはまる項目を1つ選択）。

- ・「結婚・出産・子育て政策に重点を置き、子どもを増やすことによって、人口減少を食い止める」が60.3%と最も多く、次いで「移住政策に重点を置き、市外からの人口を獲得することによって、人口減少を食い止める」が19.8%となっています。



(その他の主な回答・特徴的な回答)

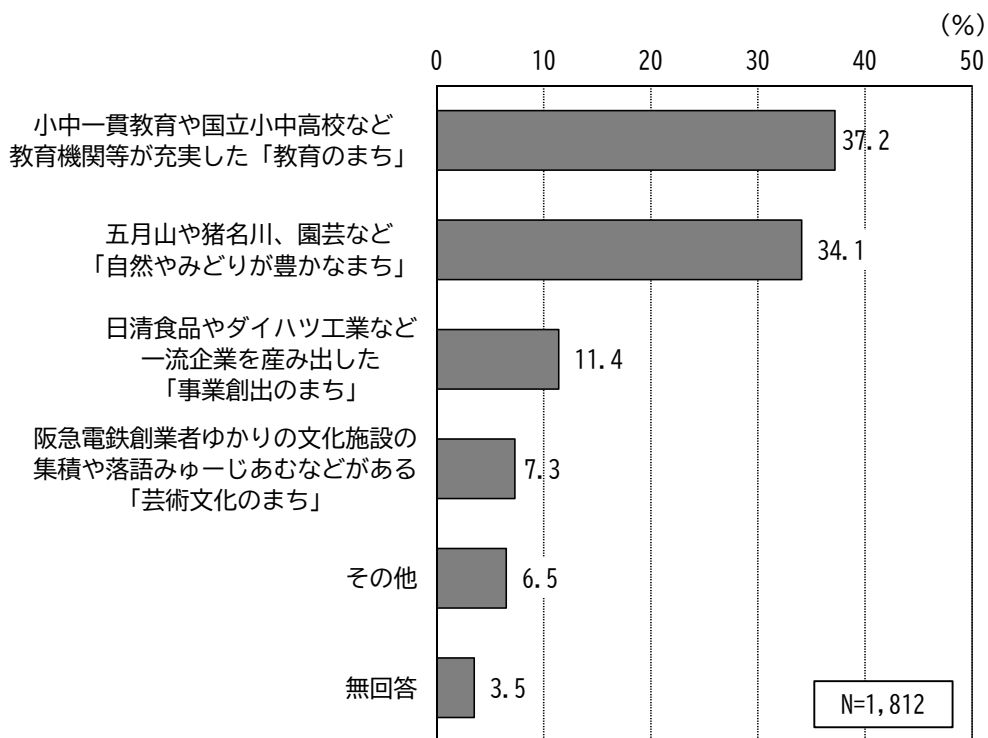
- ・人口減少してもよい。
- ・人口減少を前提とした政策を考えるべき。

(2) 池田市のブランドイメージ

(質問)

池田市に移住・引っ越しをしてもらうために、市がブランドイメージをPRするとすれば、どのようなイメージを発信すればよいと思いますか（あてはまる項目を1つ選択）。

- ・「小中一貫教育や国立小中高校など教育機関等が充実した「教育のまち」」が37.2%と最も多く、次いで「五月山や猪名川、園芸など「自然やみどりが豊かなまち」」が34.1%となっています。



(その他の主な回答・特徴的な回答)

- ・ベッタタウン、都市部にアクセスしやすい、交通利便性が高い。
- ・治安が良いまち、安心して子育てできるまち
- ・長く、おだやかに住めるまち
- ・音楽のまち

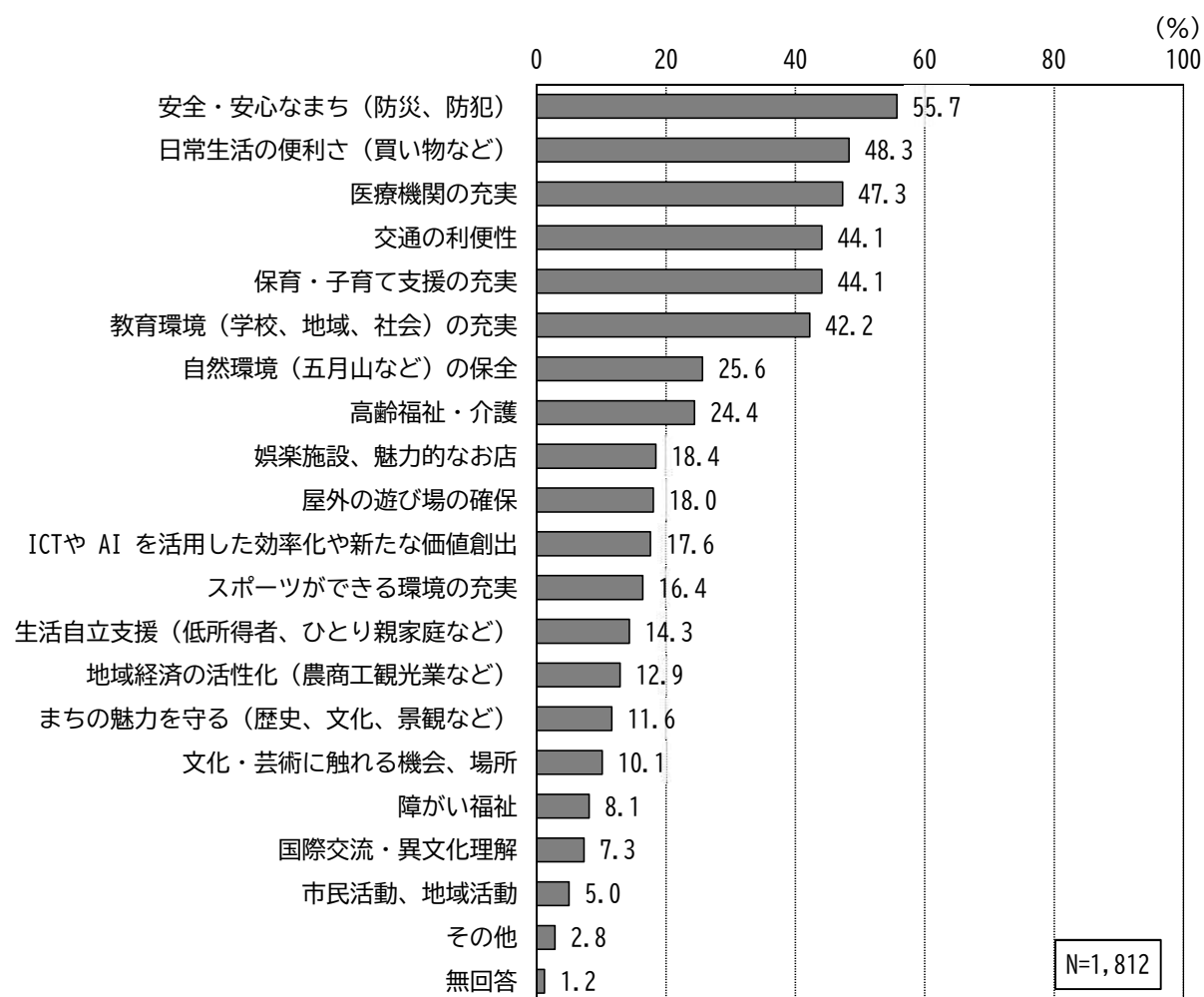
(3) 今後約10年間のまちづくりで重要だと思うこと

(質問)

現在の池田市の小学生が、将来住みやすいまちにするために、池田市のこれから10年間のまちづくりで特に重要だと思うことを選んでください（あてはまる項目を5つまで選択）。

○全体

- ・「安全・安心なまち（防災、防犯）」が55.7%と最も多く、次いで「日常生活の便利さ（買い物など）」が48.3%、「医療機関の充実」が47.3%、「交通の利便性」と「保育・子育て支援の充実」が44.1%、「教育環境（学校、地域、社会）の充実」42.2%と続いています。



(その他の主な回答・特徴的な回答)

- ・ 起業支援
- ・ 企業の誘致、市内の雇用確保
- ・ 部活動の学校間連携
- ・ 学校教育に合わない子どもの積極的ケア

○性・年代別

- ・20～40代（子育て層）は、「交通の利便性」や「日常生活の便利さ（買い物など）」、「屋外の遊び場の確保」、「娯楽施設、魅力的なお店」の値が他の年代より比較的高くなっています。
- ・また、「教育環境（学校・地域・社会）の充実」については、「19歳以下」、「20～29歳」、「30～39歳」の値が、他の年代より比較的高くなっています。

項目	全体	性別		年齢						
		男性	女性	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
交通の利便性	44.1	41.8	46.8	47.6	47.2	53.9	47.2	45.9	39.6	38.6
日常生活の便利さ（買い物など）	48.3	47.8	49.1	38.1	54.3	52.3	55.0	52.1	42.7	42.3
医療機関の充実	47.3	45.7	48.3	52.4	33.1	40.4	47.2	48.7	49.8	50.9
高齢福祉・介護	24.4	24.8	23.5	14.3	15.7	12.4	17.9	23.6	26.6	35.6
障がい福祉	8.1	7.7	8.5	19.0	10.2	3.6	6.5	8.5	6.8	10.1
生活自立支援（低所得者、ひとり親家庭など）	14.3	12.0	17.1	0.0	18.1	10.4	11.7	11.7	16.7	18.0
自然環境（五月山など）の保全	25.6	26.1	24.8	28.6	21.3	18.1	23.8	25.4	29.4	29.2
安全・安心なまち（防災、防犯）	55.7	52.6	58.4	52.4	53.5	58.5	55.4	61.4	55.3	50.6
保育・子育て支援の充実	44.1	46.8	41.4	38.1	48.8	66.3	44.0	40.7	41.0	39.5
教育環境（学校、地域、社会）の充実	42.2	41.5	42.9	57.1	38.6	47.7	49.2	39.4	39.2	39.5
市民活動、地域活動	5.0	5.4	4.7	4.8	3.9	5.7	4.6	2.8	5.5	7.1
まちの魅力を守る（歴史、文化、景観など）	11.6	12.0	11.5	4.8	11.0	6.7	8.8	12.7	15.4	12.9
スポーツができる環境の充実	16.4	19.1	13.8	38.1	22.8	12.4	17.6	16.8	17.4	14.4
屋外の遊び場の確保	18.0	18.0	18.3	28.6	26.8	31.1	21.2	18.1	16.7	9.0
娯楽施設、魅力的なお店	18.4	19.6	17.7	33.3	30.7	24.4	22.5	18.7	12.6	13.3
文化・芸術に触れる機会、場所	10.1	10.2	10.4	0.0	9.4	6.2	6.5	11.1	13.0	12.2
国際交流・異文化理解	7.3	6.6	8.1	0.0	11.0	9.3	7.2	7.0	7.8	5.8
地域経済の活性化（農商工観光業など）	12.9	12.4	13.5	19.0	4.7	3.6	8.8	13.0	15.4	19.1
ICTやAIを活用した効率化や新たな価値創出	17.6	20.7	14.4	14.3	15.0	17.6	21.2	17.6	15.7	17.2
その他	2.8	3.4	1.8	-	0.8	4.7	4.6	2.6	2.4	1.9
無回答	1.2	1.1	1.1	-	-	-	1.3	0.5	1.4	1.9

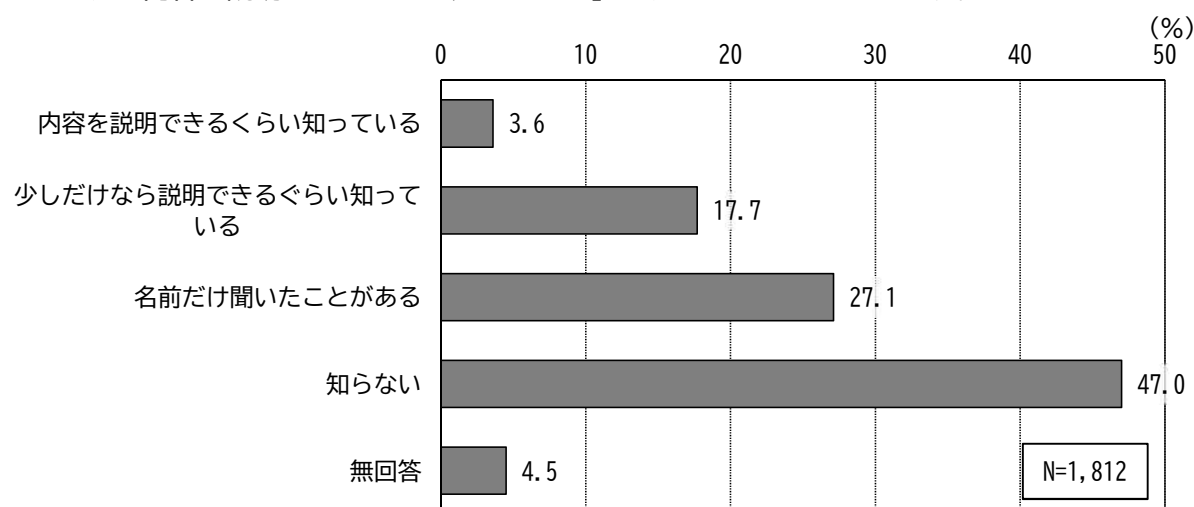
(4) SDGs の認知度

(質問)

池田市は SDGs の推進に取り組んでいます。SDGs とは、2015 年の国連サミットでかけられた、持続可能な世界を実現するための 2030 年までの国際目標で、17 の目標があります。あなたは SDGs について知っていますか（あてはまる選択肢を 1 つ選択）。

○全体

- ・ SDGs の認知度を見ると、「知らない」が 47.0%と最も多くなっており、次いで、「名前だけ聞いたことがある」が 27.1%、「少しだけなら説明できるぐらい知っている」が 17.7%、そして、「内容を説明できるぐらい知っている」は、17.1%となっています。



○性・年代別

- ・ 60 代以上は SDGs の認知度が比較的低いですが、他の年代では認知度に大きな差はありません。
- ・ SDGs の理解度は、「19 歳以下」、「20～29 歳」が他の年代より比較的高くなっています。

項目	全体	性別		年齢						
		男性	女性	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
内容を説明できるぐらい知っている	3.6	4.8	2.2	14.3	7.1	4.1	4.2	4.1	3.4	1.1
少しだけなら説明できるぐらい知っている	17.7	19.3	16.5	23.8	22.0	22.3	19.2	23.1	17.4	9.4
名前だけ聞いたことがある	27.1	26.9	26.8	14.3	27.6	25.9	26.4	24.4	29.0	29.2
知らない	47.0	44.5	50.4	47.6	43.3	46.6	47.2	46.6	47.1	49.6
無回答	4.5	4.5	4.2	0.0	0.0	1.0	2.9	1.8	3.1	10.7

(5) 池田市や市民が貢献すべき SDGs の 17 の目標

(質問)

SDGs の達成に向けて、池田市や市民は、「地域や市民のために」取り組む場合と「世界や地球のために」取り組む場合で、それぞれ 17 の目標のうち特にどの目標に貢献すればよいと思いますか（あてはまる項目をそれぞれ3つ選択）。

- ・「地域や市民のために」取り組む場合では、「住み続けられるまちづくりを」が 68.2%と最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が 57.7%、「質の高い教育をみんなに」が 40.7%などとなっています。
- ・「世界や地球のために」取り組む場合では、「安全な水とトイレを世界中に」が 32.5%と最も多く、次いで「飢餓をゼロ」が 30.4%、「気候変動に具体的な対策を」が 30.0%などとなっています。

SDGsの17目標		地域や市民のために 取り組む場合	世界や地球のために 取り組む場合
1	貧困をなくそう	21.7%	28.0%
2	飢餓をゼロ	4.1%	30.4%
3	すべての人に健康と福祉を	57.7%	18.2%
4	質の高い教育をみんなに	40.7%	13.8%
5	ジェンダー平等を実現しよう	4.7%	6.3%
6	安全な水とトイレを世界中に	6.2%	32.5%
7	エネルギーをみんなに　そしてクリーンに	7.0%	22.4%
8	働きがいも経済成長も	28.1%	9.4%
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	10.0%	8.3%
10	人や国の不平等をなくそう	6.1%	24.2%
11	住み続けられるまちづくりを	68.2%	5.9%
12	つくる責任　つかう責任	8.1%	9.8%
13	気候変動に具体的な対策を	11.9%	30.0%
14	海の豊かさを守ろう	0.9%	9.3%
15	陸の豊かさも守ろう	2.6%	7.8%
16	平和と公正をすべての人に	8.4%	26.8%
17	パートナーシップで目標を達成しよう	1.3%	2.3%
18	無回答	3.0%	4.2%

○年代別（「地域や市民のために」取り組む場合）

- ・「質の高い教育をみんなに」は、50代以下が60代以上より比較的多くなっています。
- ・「ジェンダー平等を実現しよう」は、20代以下が30代以上より比較的多くなっています。

目標	全体	年齢						
		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
貧困をなくそう	21.7	28.6	20.5	19.2	16.0	21.8	22.9	26.0
飢餓をゼロ	4.1	14.3	4.7	5.7	3.9	4.1	4.4	2.8
すべての人に健康と福祉を	57.7	52.4	62.2	51.8	50.5	60.6	58.0	61.6
質の高い教育をみんなに	40.7	42.9	44.9	54.9	50.8	42.0	35.2	29.4
ジェンダー平等を実現しよう	4.7	14.3	10.2	5.2	6.2	3.1	4.8	3.0
安全な水とトイレを世界中に	6.2	4.8	7.9	8.8	4.2	4.4	5.8	7.7
エネルギーをみんなに　そしてクリーンに	7.0	0.0	6.3	6.2	9.1	4.9	8.9	7.3
働きがいも経済成長も	28.1	38.1	24.4	30.1	30.0	30.8	28.7	24.9
産業と技術革新の基盤をつくろう	10.0	14.3	10.2	9.3	9.8	9.1	8.2	12.0
人や国の不平等をなくそう	6.1	4.8	5.5	4.7	5.9	5.7	7.2	6.9
住み続けられるまちづくりを	68.2	61.9	68.5	71.5	72.0	71.5	66.2	64.4
つくる責任　つかう責任	8.1	4.8	7.9	5.7	8.5	9.3	7.8	7.9
気候変動に具体的な対策を	11.9	4.8	7.9	7.8	9.4	10.6	16.0	14.4
海の豊かさを守ろう	0.9	0.0	0.8	0.5	1.0	1.3	0.3	1.3
陸の豊かさも守ろう	2.6	14.3	3.1	3.6	2.6	3.9	2.0	1.1
平和と公正をすべての人に	8.4	0.0	9.4	5.7	8.5	8.5	9.9	8.8
パートナーシップで目標を達成しよう	1.3	0.0	2.4	2.1	1.6	1.3	1.4	0.6
無回答	3.0	0.0	0.8	1.6	2.6	1.8	2.4	5.4

○年代別（「世界や地球のために」取り組む場合）

- ・「すべての人に健康と福祉を」、「ジェンダー平等を実現しよう」、「人や国の不平等をなくそう」は、20代以下が30代以上より比較的多くなっています。

目標	全体	年齢						
		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
貧困をなくそう	28.0	19.0	31.5	22.8	25.4	26.7	30.4	30.9
飢餓をゼロ	30.4	42.9	20.5	20.7	27.0	35.5	37.2	29.8
すべての人に健康と福祉を	18.2	28.6	21.3	17.6	19.5	17.6	19.8	16.1
質の高い教育をみんなに	13.8	23.8	13.4	14.0	17.3	14.5	14.0	10.5
ジェンダー平等を実現しよう	6.3	19.0	15.0	6.7	5.5	6.5	7.2	3.0
安全な水とトイレを世界中に	32.5	28.6	22.0	29.0	34.2	35.2	32.1	34.1
エネルギーをみんなに そしてクリーンに	22.4	9.5	19.7	32.6	23.1	22.8	21.2	19.7
働きがいも経済成長も	9.4	4.8	11.8	14.0	9.4	10.4	5.5	9.0
産業と技術革新の基盤をつくろう	8.3	23.8	9.4	9.3	10.4	7.8	5.8	7.7
人や国の不平等をなくそう	24.2	28.6	30.7	23.8	24.1	22.8	24.6	23.8
住み続けられるまちづくりを	5.9	4.8	5.5	7.8	6.2	5.2	4.4	6.4
つくる責任 つかう責任	9.8	19.0	11.0	17.6	11.7	10.4	7.2	5.8
気候変動に具体的な対策を	30.0	9.5	23.6	24.9	29.3	26.4	30.7	37.8
海の豊かさを守ろう	9.3	14.3	15.0	7.3	9.1	7.5	8.9	10.5
陸の豊かさも守ろう	7.8	4.8	14.2	12.4	8.5	8.8	6.1	4.3
平和と公正をすべての人に	26.8	19.0	26.0	28.0	23.1	31.1	28.3	25.3
パートナーシップで目標を達成しよう	2.3	0.0	4.7	3.1	3.3	2.8	0.7	1.3
無回答	4.2	0.0	1.6	2.1	3.6	2.3	4.8	6.9

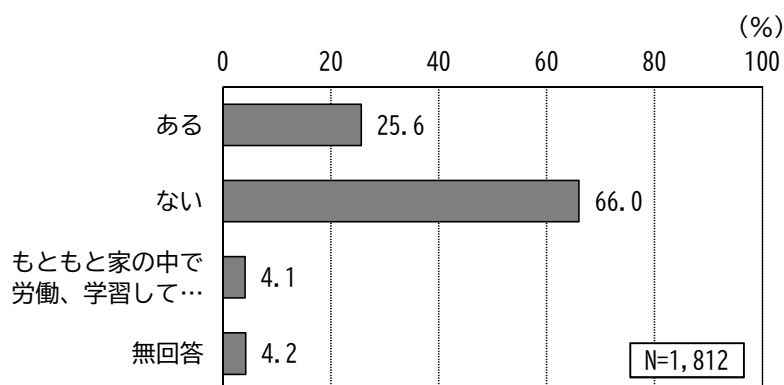
2. 6 新しい生活様式などについて

(1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響による遠隔勤務・学習の経験

(質問)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、テレワークなど、場所や時間にとらわれない働き方が広まりつつあります。感染拡大の影響で、あなたは在宅勤務やサテライトオフィス等を利用した遠隔での勤務をしたことがありますか、また、学生の場合、在宅で授業、講義を受けたことはありますか（あてはまる選択肢を1つ選択）。

・遠隔勤務・学習の経験は、「ない」が66.0%、「ある」が25.6%となっています。

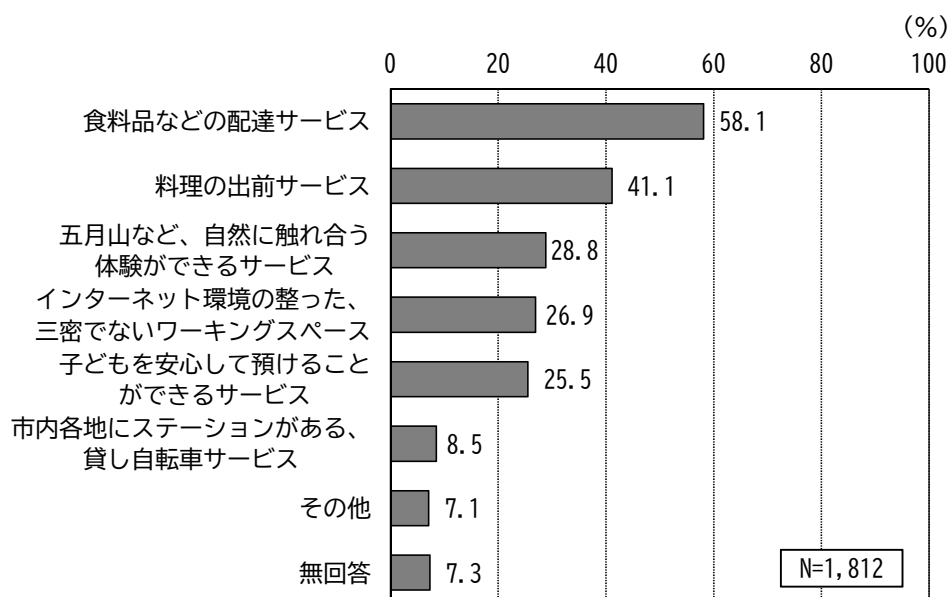


(2) 自宅、市内の滞在時間が長くなった場合に利用したいサービスや施設

(質問)

新型コロナウイルスの感染拡大などの影響で、遠方への外出が難しく、自宅や池田市内の滞在時間がこれまでより長くなった場合、どのようなサービスや施設を利用したいですか（あてはまる項目を全て選択）。

- ・「食料品などの配達サービス」が 58.1%、「料理の出前サービス」が 41.1%、「五月山など、自然に触れ合う体験ができるサービス」が 28.8%、「インターネット環境の整った、三密でないワーキングスペース」が 26.9%、「子どもを安心して預けることができるサービス」が 25.5%などとなっています。



(その他の主な回答・特徴的な回答)

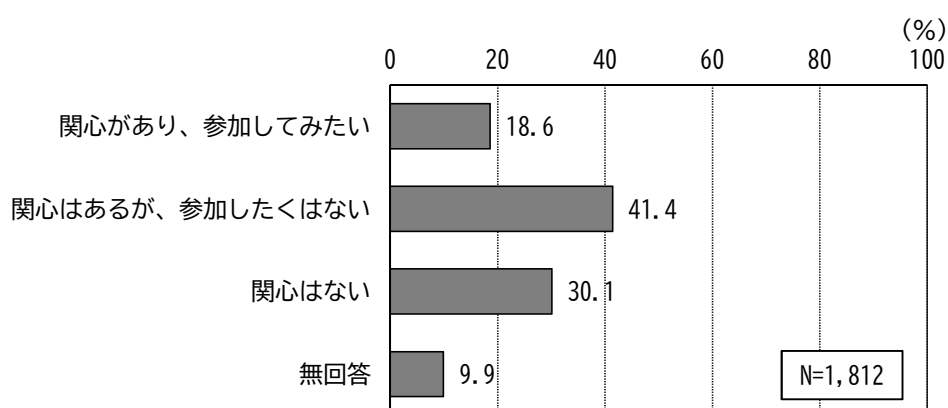
- ・図書館サービス
- ・自習スペース
- ・スポーツ
- ・運動環境の充実
- ・オンライン診療
- ・健康相談
- ・オンライン配信ツールを活用した植木
- ・家庭菜園等のワークショップ
- ・猪名川でドライブインシアター

(3) 「リビングラボ」への関心

(質問)

暮らしが多様化する中、ニーズに沿った新しい商品やサービスを生み出すために、企業だけではなく、大学や、ユーザーとなる市民などが参加し、共同で研究や開発を行う「リビングラボ」という取組の重要性が高まっています。このような取組に関心はありますか（あてはまる選択肢1つを選択）。また、地域や暮らしの中で困っていることや解決したいことについて自由に記入してください。

- ・リビングラボに関心がある人（「関心があり、参加してみたい」＋「関心はあるが、参加したくはない」の合計）は60.0%となっています。参加してみたい人は18.6%となっています。
- ・一方、関心のない人は30.1%となっています。



(地域や暮らしの中での困りごとや解決したいこと)

- ・猪名川でドライブインシアター
- ・産婦人科が少ない。小児科の予約が取りにくい。
- ・病児保育の定員が少ない。
- ・学童保育の利用可能期間が短い。
- ・障がい者の就業支援所や作業所が少ない。
- ・プラスチックゴミ、トレイゴミの収集日が少ない。
- ・耕作放棄の田畑が増えている。
- ・ゴミ袋のリットル数が分かりにくい（巻かれていて広げないと分からない）ので、ラインを入れるなど、広げなくても分かるようにできないか。
- ・スクールゾーンの道が狭い、暗い、危ないので、PTA マップをもとにイメージランプを道路にペイントすればいいのではないか。
- ・高齢者や身体不自由者にとって快適な衣類の企画開発をしてはどうか。

2. 7 自由意見

(質問)

これからの池田市のあり方について、アイデア・意見などありましたら自由にご記入ください。

・主な意見は以下のとおりとなっています。

- ・不育症の助成だけでなく、不妊の助成も必要ではないか。
- ・学童で給食を提供してほしい。
- ・自治会への参加に障壁がある。子ども会、婦人会などの入り口の敷居が高い。
- ・市にある企業が、今後も池田市に拠点を置くとは限らないのではないか。
- ・交通系の目標を掲げるのであれば、これからは「日本一免許返納できるまち」がよいのではないか。
- ・小学校のトイレ清掃をコロナ禍で親が交代で行っているが、プロの業者に定期的に行っていただけないか。親にも感染リスクはある。
- ・産業技術総合研究所と連携してはどうか。活かされていない。
- ・コロナの影響もあり、家庭菜園の注目度が上がっている。「植木のまち」として、植物を活かしたまちづくりをもっとできないか。
- ・赤ちゃんに必要なもの（服、離乳食、おもちゃなど）を購入する場所がない。
- ・カメラや AI を活用して、危険なものや犯罪から子どもたちを守れないか。
- ・若者が市内で楽しめる施設、スペースがもっとあるとよい。

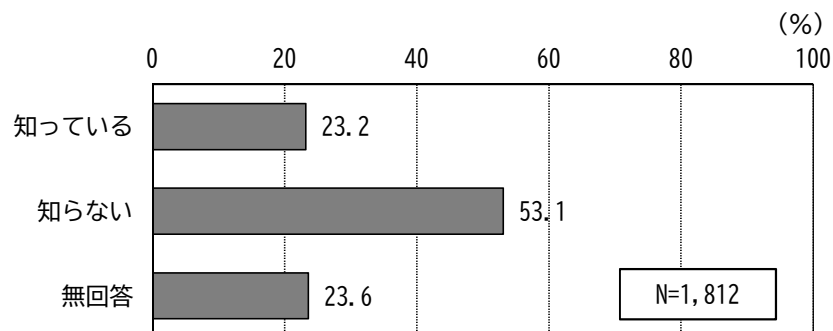
2. 8 コミュニティ活動や市民参加について

(1) 地域コミュニティ推進協議会と地域分権の取組の認知

(質問)

本市は各小学校区に「地域コミュニティ推進協議会」を設立し、それぞれの地域の課題の解決に向けて取り組んでいただく地域分権を実施しています。このことをあなたは知っていますか（あてはまる選択肢を1つ選択）。

- ・「知らない」が53.1%と過半数で、「知っている」は2割強にとどまっています。



○地域別

- ・「ほそごう学園校区（旧伏尾台）」は、唯一、「知っている」が「知らない」を上回り41.9%となっています。他の地区では「知らない」が「知っている」を上回っています。

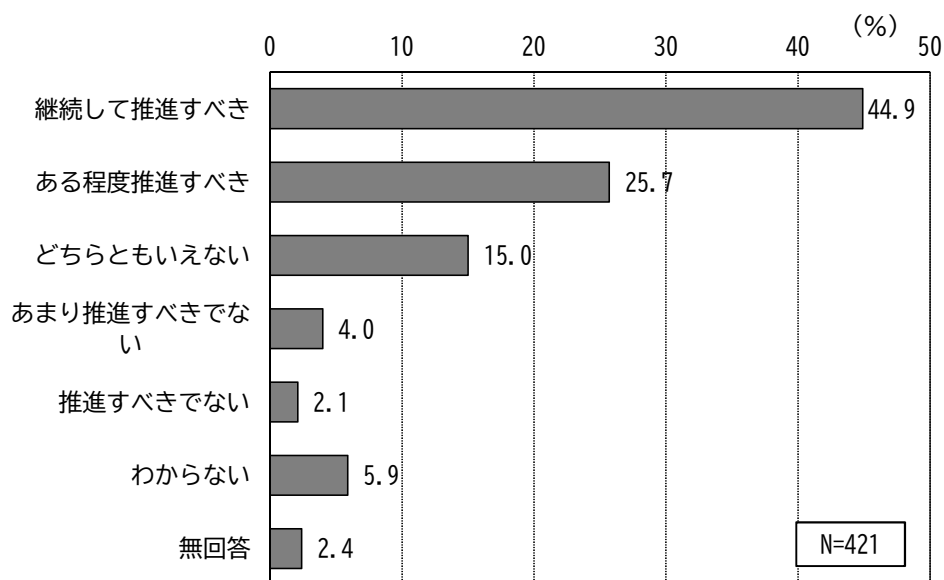
構成比	全体	お住まいの小学校区										
		池田小学校区	秦野小学校区	北豊島小学校区	呉服小学校区	石橋小学校区	五月丘小学校区	石橋南小学校区	緑丘小学校区	神田小学校区	ほそごう学園校区(旧細河)	ほそごう学園校区(旧伏尾台)
知っている	23.2	15.6	29.0	22.0	25.5	20.2	27.5	21.0	27.6	22.4	28.4	41.9
知らない	53.1	60.8	49.3	59.3	52.7	58.0	45.1	61.0	44.8	52.1	54.5	30.2
無回答	23.6	23.6	21.7	18.7	21.7	21.8	27.5	18.0	27.6	25.5	17.0	27.9

(2) 地域コミュニティ推進協議会による共助の関係構築の推進について

(質問) (1) で「知っている」を選択した人のみ回答

現行の地域コミュニティ推進協議会による共助の関係の構築について、あなたはどのように思いますか（あてはまる選択肢を1つ選択）。

- ・「継続して推進すべき」が44.9%と最も多く、次いで「ある程度推進すべき」が25.7%、「どちらともいえない」が15.0%となっています。

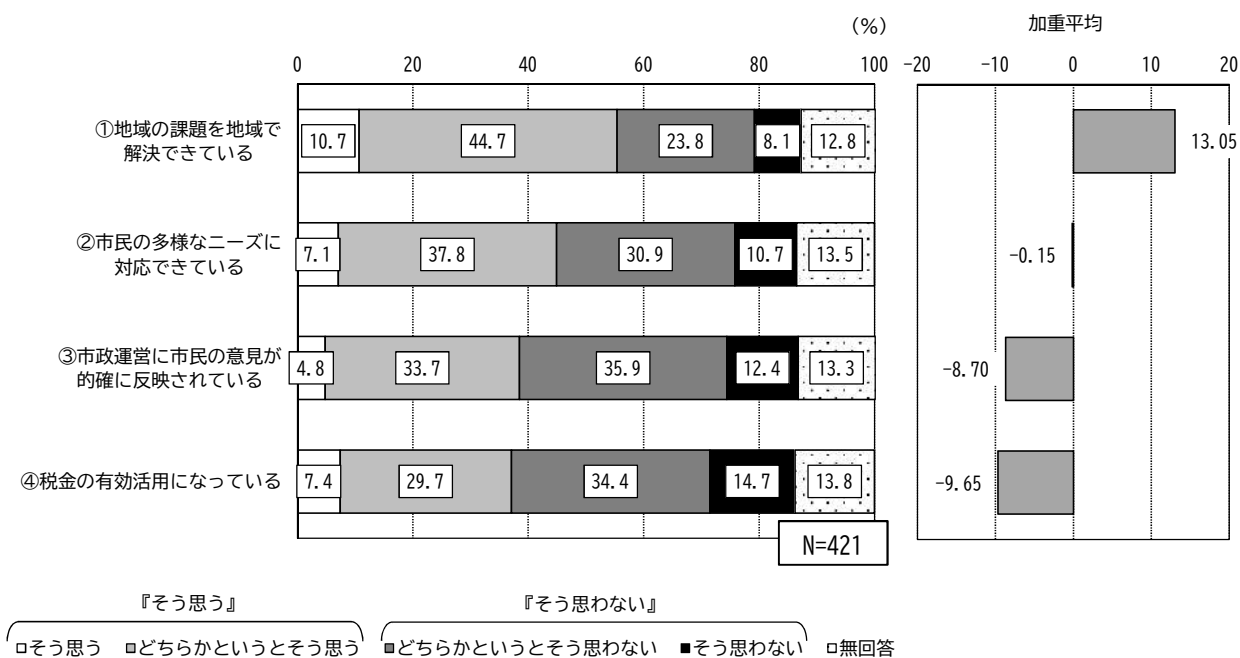


(3) 地域コミュニティ推進協議会の活動推進による公共サービスの変化

(質問) (1) で「知っている」を選択した人のみ回答

地域コミュニティ推進協議会の活動を推進することにより、次のような公共サービスの変化がありましたか。(あてはまる選択肢をそれぞれ1つ選択)。

- ・「①地域の課題を地域で解決できている」について、『そう思う』(「そう思う」「どちらかというと思う」の合計(以下、同様))が55.4%、『そう思わない』(「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計(以下、同様))が31.9%となっています。
- ・「②市民の多様なニーズに対応できている」について、『そう思う』が44.9%、『そう思わない』が41.6%となっています。
- ・「③市政運営に市民の意見が的確に反映されている」について、『そう思う』が38.5%、『そう思わない』が48.3%となっています。
- ・「④税金の有効活用になっている」について、『そう思う』が37.1%、『そう思わない』が49.1%となっています。

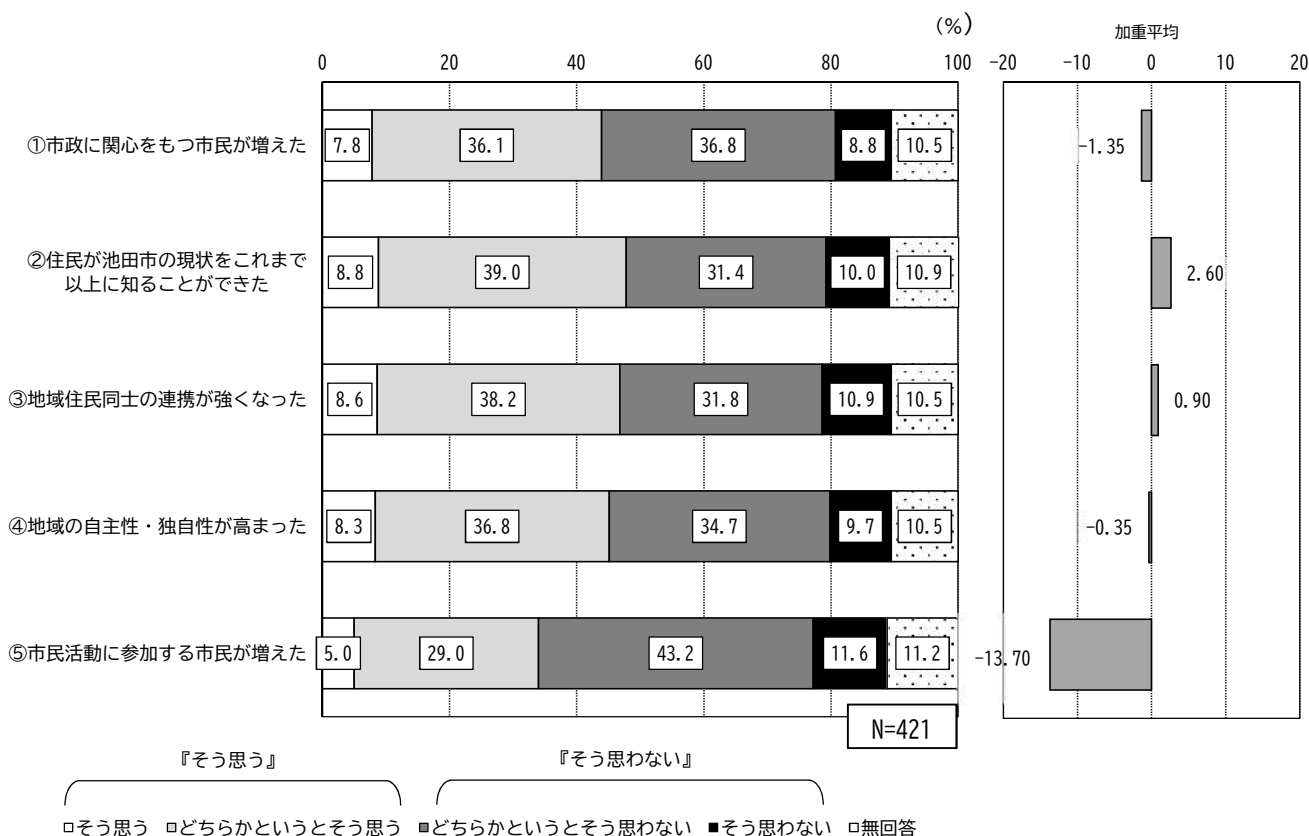


(4) 地域コミュニティ推進協議会の活動推進による市民の暮らしや意識の変化

(質問) (1) で「知っている」を選択した人のみ回答

地域コミュニティ推進協議会の活動を推進することにより、次のような公共サービスの変化がありましたか。(あてはまる選択肢をそれぞれ1つ選択)。

- ・「①市政に関心をもつ市民が増えた」について、『そう思う』が43.9%、『そう思わない』が45.6%となっています。
- ・「②住民が池田市の現状をこれまで以上に知ることができた」について、『そう思う』が47.8%、『そう思わない』が41.4%となっています。
- ・「③地域住民同士の連携が強くなった」について、『そう思う』が46.8%、『そう思わない』が42.7%となっています。
- ・「④地域の自主性・独自性が高まった」について、『そう思う』が45.1%、『そう思わない』が44.4%となっています。
- ・「⑤市民活動に参加する市民が増えた」について、『そう思う』が34.0%、『そう思わない』が54.8%となっています。



(4) 現在の地域コミュニティ活動に関する自由意見

(質問) (1) で「知っている」を選択した人のみ回答

現行の地域コミュニティ推進協議会のあり方について、地域分権制度の改変も含めて検討しています。現在のコミュニティ活動に関し、ご意見、ご提案がありましたら、どのようなことも結構ですからご自由にお書きください。

・主な意見や特徴的な意見は以下のとおりとなっています。

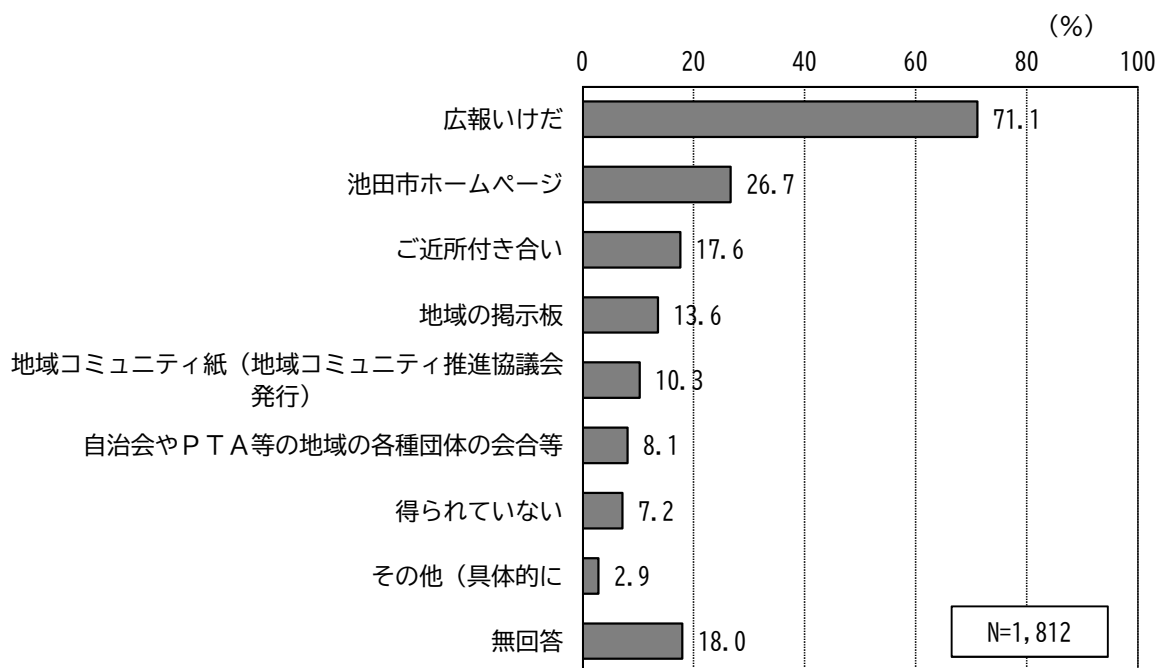
- ・地域コミュニティ活動がどのようなものか、何をしているのかを知らない。情報発信が不十分なのではないか。
- ・活動のメンバーが固定化、高齢化している。新しい人、若い人が参加しづらい。誰でも参加しやすい仕組みが必要ではないか。
- ・市と地域コミュニティが連携して、活動の担い手を育てる必要があるのではないか。
- ・地域によって活動の質に差がある。
- ・うまく運営できていない地域にはコーディネーター等の専門家を入れるか、あるいは分配金を一律にしないなどの工夫が必要はないか。
- ・地域ごとに明確なビジョンをかせ、ビジョンに基づく取組をしてはどうか。
- ・地域コミュニティの様々な催しや取組のおかげで、親子ともに地域で多くのつながりができ、感謝している。

(5) 地域の情報の取得方法

(質問)

あなたは、お住いの地域の情報を何から得ていますか（あてはまる項目を全て選択）。

- ・「広報いけだ」が71.1%と最も多く、次いで「池田市ホームページ」が26.7%、「ご近所付き合い」が17.6%などとなっています。

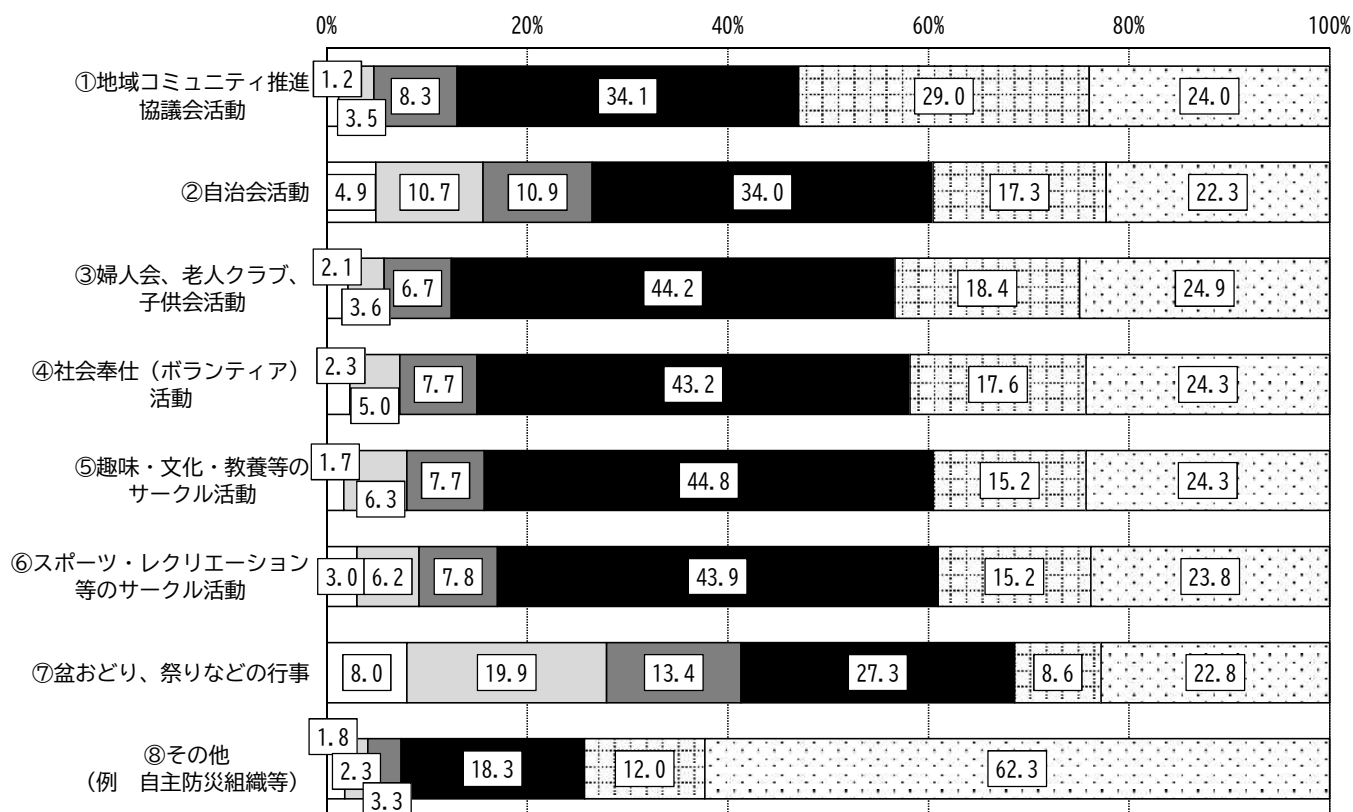


(6) 地区での行事・活動への参加頻度

(質問)

あなたは、地区での行事や活動にどのくらい参加されていますか（あてはまる選択肢をそれぞれ1つ選択）。

- ・全ての行事・活動で、参加する人よりも参加しない人が多くなっています。「⑦盆おどり、祭りなどの行事」以外の行事・活動は、参加しない人の方が大幅に多くなっています。



□よく参加する □ときどき参加する ■あまり参加しない ■全く参加しない ▨そのような行事・活動がない、知らない □無回答

(その他の主な回答・特徴的な回答)

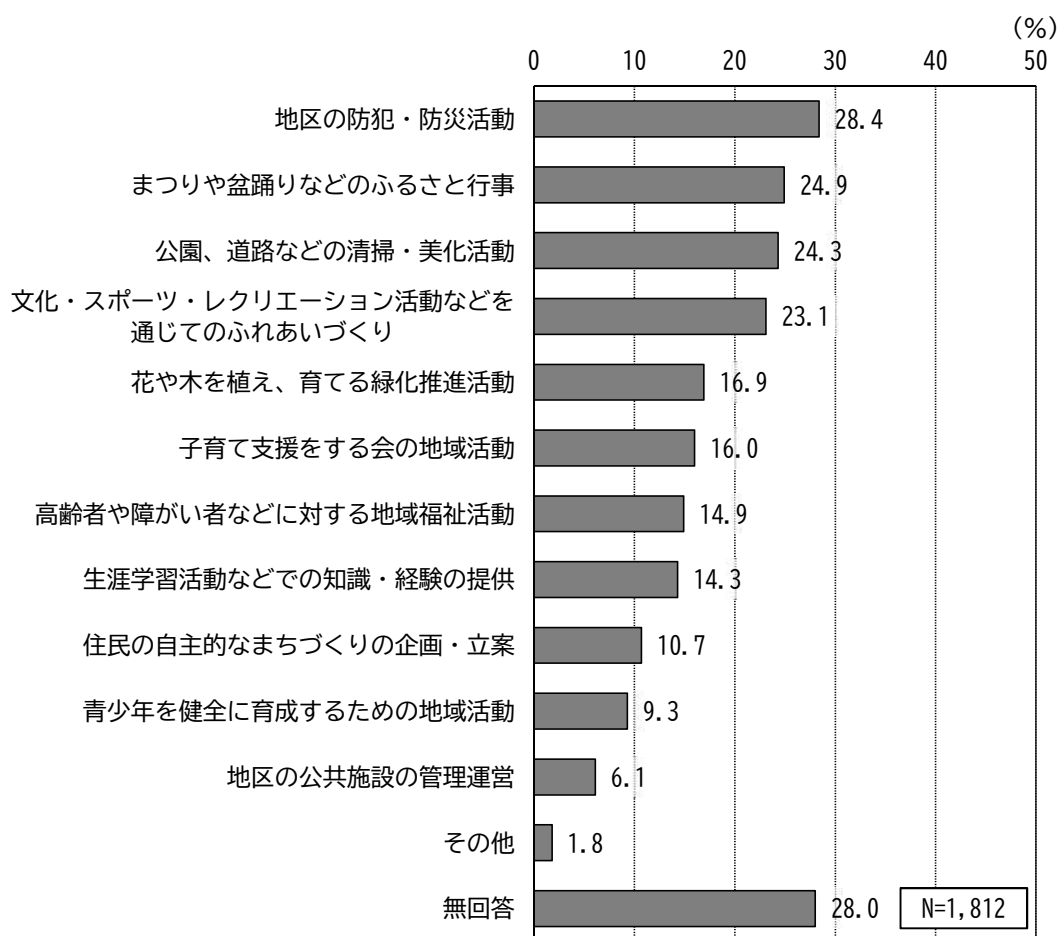
- ・防災訓練、自主防災組織
- ・社協活動

(7) 地区での行事や活動への参加意向

(質問)

住みよいまちは、市民がお互いに協力しながらつくっていく必要があります。次のような活動が進められた場合、あなたはどのような活動に参加しようとお考えですか（あてはまるもの項目を全て選択）。

- ・「地区の防犯・防災活動」が28.4%と最も多く、次いで「まつりや盆踊りなどのふるさと行事」が24.9%、「公園、道路などの清掃・美化活動」が24.3%、「文化・スポーツ・レクリエーション活動などを通じてのふれあいづくり」が23.1%、「花や木を植え、育てる緑化推進活動」が16.9%などとなっています。

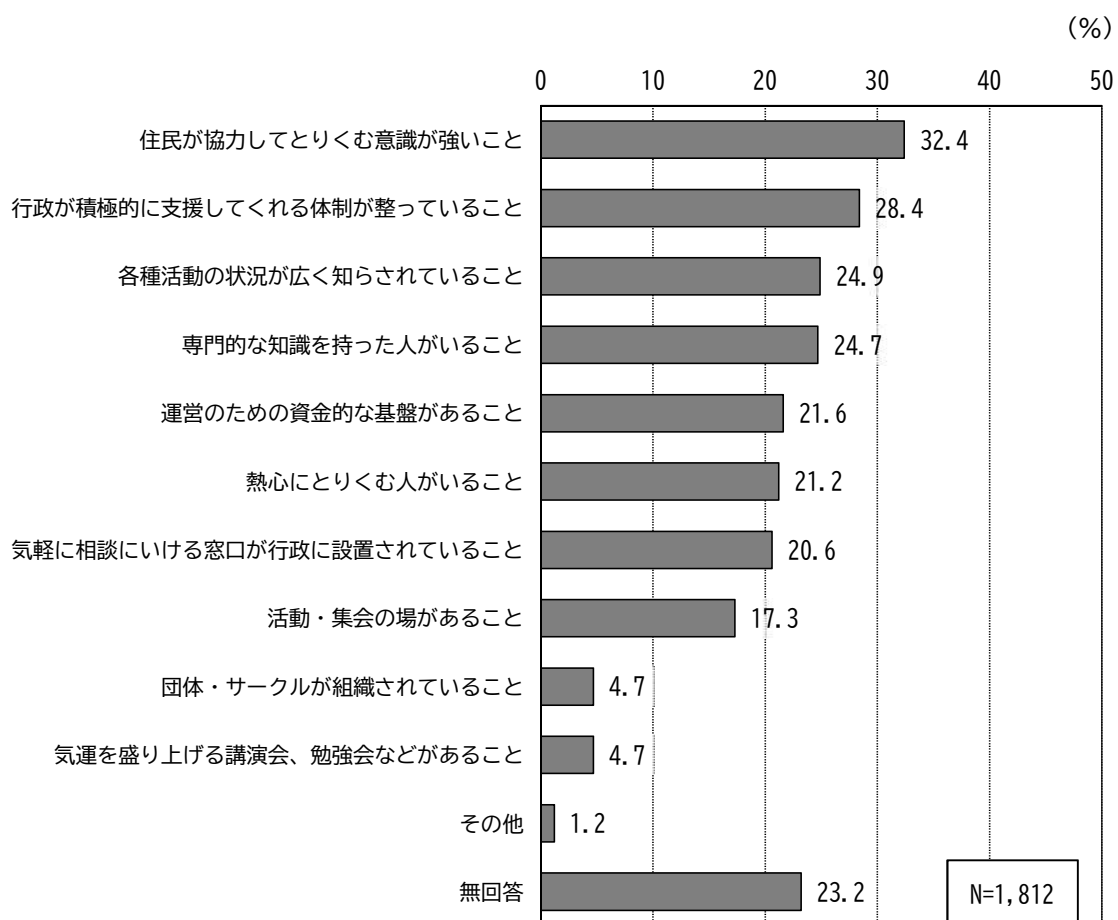


(8) 市民活動を円滑に進めるために特に必要なこと

(質問)

これからの活動を円滑にすすめるために特に必要なものは、何だと考えられますか。(あてはまる項目を3つまで選択)。

- ・「住民が協力してとりくむ意識が強いこと」が32.4%と最も多く、次いで「行政が積極的に支援してくれる体制が整っていること」が28.4%、「各種活動の状況が広く知らされていること」が24.9%、「専門的な知識を持った人がいること」が24.7%、「運営のための資金的な基盤があること」が21.6%などとなっています。

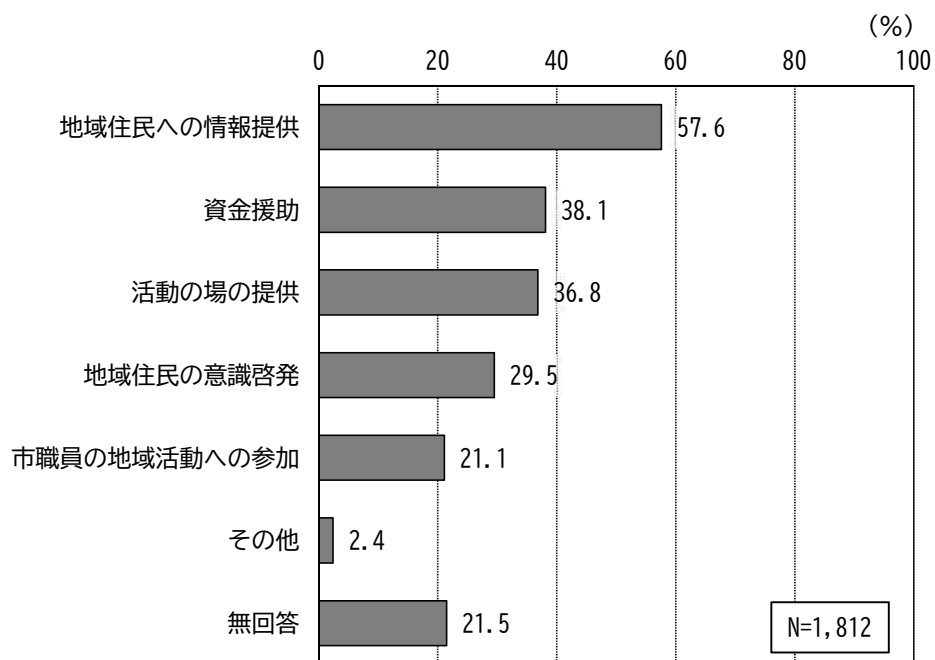


(9) 地域活動の活性化に向けて市に求められること

(質問)

あなたは、地域活動をさらに活性化するために、市に求められるものは何だと思いますか（あてはまる項目を全て選択）。

- ・「地域住民への情報提供」が 57.6%と最も多く、次いで「資金援助」が 38.1%、「活動の場の提供」が 36.8%などとなっています。

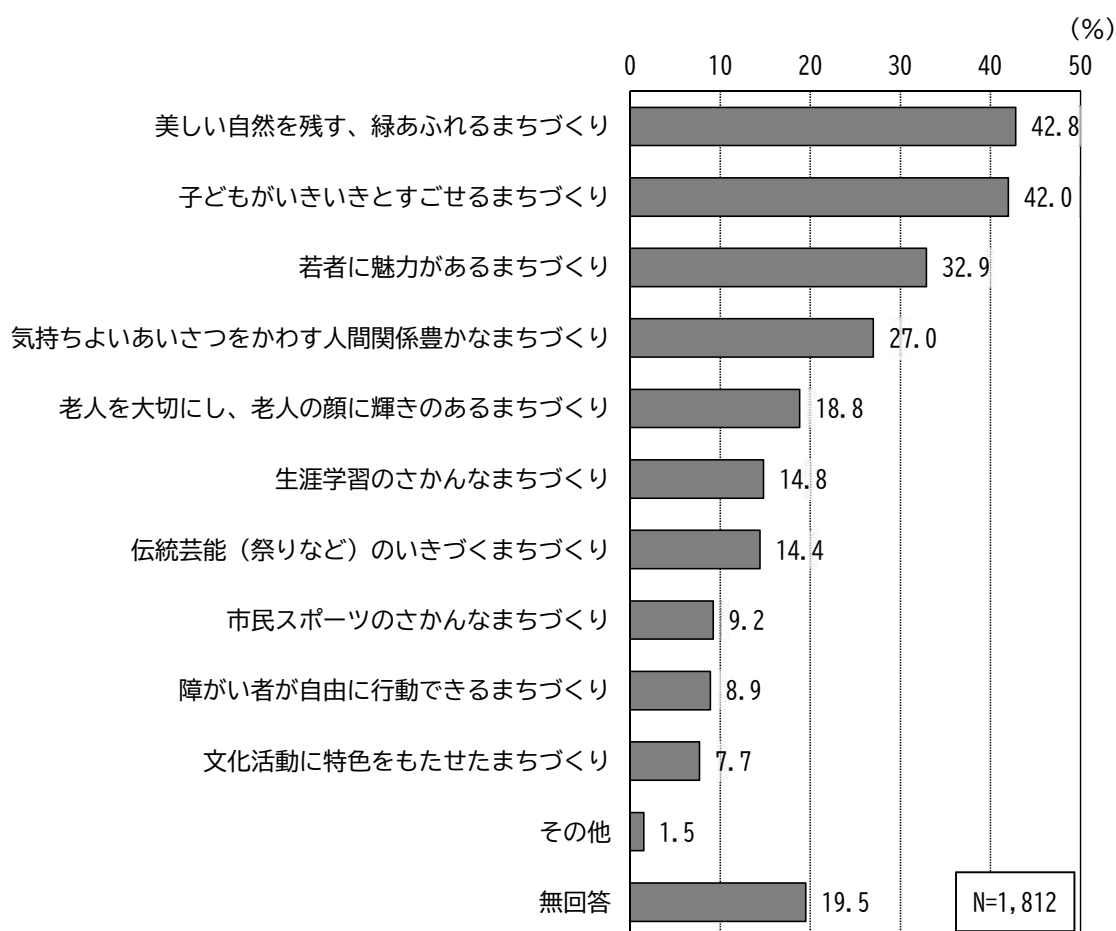


(10) 進めていくべき市民参加によるまちづくり

(質問)

今後、市民参加によるまちづくりを行っていくにあたって、特にどのようなまちづくりを進めていくのがよいと思いますか（あてはまるもの項目を3つまで選択）。

- ・「美しい自然を残す、緑あふれるまちづくり」が42.8%と最も多く、次いで「子どもがいきいきとすごせるまちづくり」が42.0%、「若者に魅力があるまちづくり」が32.9%、「気持ちよいあいさつをかわす人間関係豊かなまちづくり」が27.0%、「老人を大切にし、老人の顔に輝きのあるまちづくり」が18.8%などとなっています。



池田市政に関する市民アンケート（意識調査）

日ごろは市政に対しご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

池田市では、まちづくりの方針を定めた「第6次総合計画」の計画期間が2023年3月に終了するため、今後のまちづくりの新しい道しるべとなる「第7次総合計画」をつくる準備を進めています。

このため、市民のみなさまにこれまでのまちづくり事業やこれからのまちづくりの方向性などについて、率直なご意見やお考えをお伺いし、新たな総合計画に反映していく基礎資料とするために、アンケート調査を行うこととしました。

このアンケート調査は、池田市にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に3,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いしています。

みなさまが日頃の生活の中で感じられていることを、市への期待や不満なども含めて、率直にご記入いただければ幸いです。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査へのご回答にご協力賜りますようお願いいたします。

2020年9月

池田市長 富田 裕樹

【調査票へのご記入にあたって】

- 1 お送りした宛名のご本人がお答えください。氏名をご記入いただく必要はありません。
- 2 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映して、代理の方がご記入いただいても差しつかえありません。
- 3 回答できない（したくない）質問は、ご回答いただかなくても結構です。
- 4 ご記入いただけましたら、同封の返信用封筒（茶色）に入れて、
2020年9月27日（日） までに
郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。
- 5 回答内容は統計的に処理して、プライバシーの保護に十分留意いたします。
- 6 ご記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

（お問合せ先）

〒563-8666 大阪府池田市城南1丁目1番1号
池田市役所 総合政策部 SDGs政策企画課
TEL：072-754-6213

【参考】 第6次池田市総合計画や市の取組状況を、池田市公式ホームページや市役所行政資料閲覧コーナー（本庁2階）にて公開しています。ご回答の際にご活用下さい。

1. 池田市の住みやすさとイメージについてお聞きします。

問1 池田市の住みやすさなどについて、どのようにお考えですか。(あてはまる番号それぞれに○)

項目	あなたの考え	そう思う	まあ そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない
(記入例) ①池田市は住みやすい		⑤	4	3	2	1
①池田市は住みやすい		5	4	3	2	1
②池田市に住み続けたい		5	4	3	2	1
③池田市に愛着を感じる		5	4	3	2	1
④市外の人にまちの魅力を自慢できる		5	4	3	2	1

問2 池田市のイメージについて、どのようにお考えですか。(あてはまる番号それぞれに○)

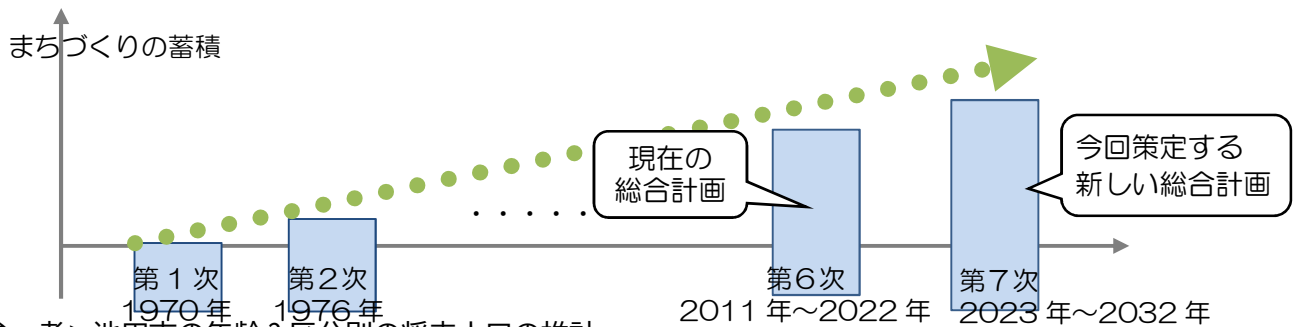
項目	あなたの考え	そう思う	まあ そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない
①交通の利便性がよい		5	4	3	2	1
②日常生活の便利がよい		5	4	3	2	1
③医療機関が多い		5	4	3	2	1
④福祉サービスが充実している		5	4	3	2	1
⑤保育・子育て支援が充実している		5	4	3	2	1
⑥教育環境がよい		5	4	3	2	1
⑦自然環境がよい		5	4	3	2	1
⑧治安がよい		5	4	3	2	1
⑨自然災害が少ない		5	4	3	2	1
⑩地域活動が活発		5	4	3	2	1
⑪歴史・文化資源が多い		5	4	3	2	1
⑫スポーツ施設が多い		5	4	3	2	1
⑬景観がよい		5	4	3	2	1

2. 市が目指してきた「まちの姿」の達成状況と、これからの取組の重要性についてお聞きします。

以下を踏まえて回答をお願いいたします。

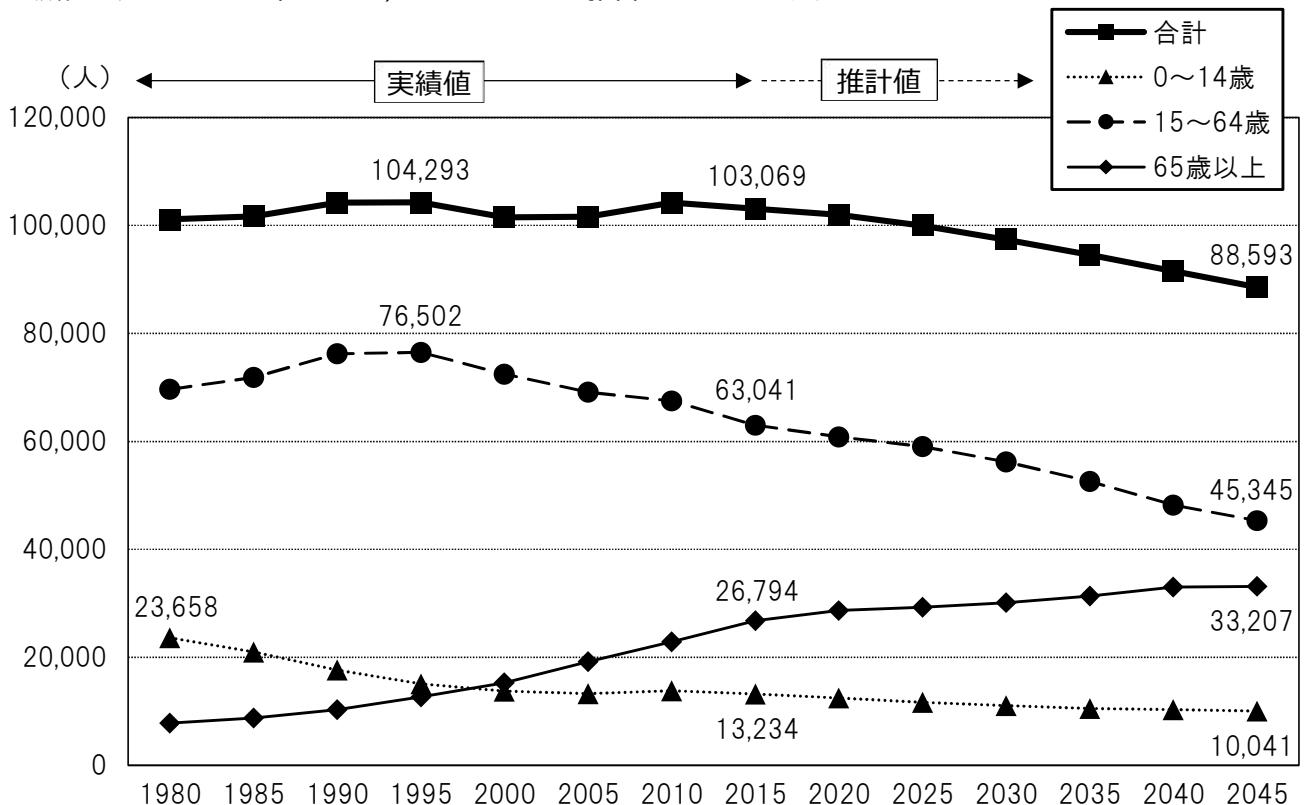
第7次総合計画の策定について

- 池田市は、1939年に市制が施行されて以来、さまざまなまちづくりに取り組んできました。まちづくりの方針を定める総合計画は1970年に第1次総合計画が策定され、概ね10年ごとに改定され、現在の第6次総合計画は2011年度から2022年度までが計画期間となっています。
- 今年度から策定作業を開始した第7次総合計画は、2023年度からスタートし、2032年度を目標とする予定です。策定にあたっては、これまでのまちづくりの蓄積を十分活かしつつも、人口減少や少子高齢化をはじめとする課題に対応し、新しい動向等も踏まえた総合計画にする必要があります。



<参考> 池田市の年齢3区分別の将来人口の推計

- 池田市の人口のピークは1995年の104,293人で、2015年現在103,059人となっており、今後、人口減少が進み、2045年には88,593人になると推計されています。



※2015年までは「国勢調査」（総務省統計局）、2020年以降は「日本の地域別将来推計人口（2018年）」（国立社会保障・人口問題研究所）を加工して作成。

問 池田市では現在推進中の「第6次総合計画」では、6つの大きな政策ごとに合計41項目の取組を進めてきました。それぞれの項目に対して、(A)現在の達成状況と、(B)これから約10年間での重要性について、市民のみなさまから見た場合のお考えを教えてください。(あてはまる番号それぞれに○)

現在

将来

● (第1章) にぎわいと活力あふれるまち

現在の達成状況と これから約10年間での重要性	A 現在の達成状況					B これから 約10年間での重要性									
	そう な って い る	な っ て い る	ま あ そ う な っ て い る	ど ち ら か も い え な い	あ ま り そ う な っ て い な い	そ う な っ て い な い	重 要	や や 重 要	い え な い	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い			
まちの姿と取組 (記入例) 1. 市街地整備 利便性、快適性、安全性を兼ね備えた人にやさしいまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1. 市街地整備 利便性、快適性、安全性を兼ね備えた人にやさしいまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 細河地域 植木産業のブランドが確立され、自然を生かした観光・教育ができる細河地域	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 大阪国際空港 アクセスがよく、経済に良い影響を与え、人にも環境にもやさしい空港のあるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 道路 市民にとって便利で、安全かつ円滑に通行できる道路のあるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 住環境 質の高い居住水準と多様なニーズに対応できる、良好な住環境があるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 農園芸 植木産業や野菜栽培が盛んで、地産地消が進み、市民が農園芸に近いまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 商業 駅周辺の商店街に市民や近隣の人々が訪れ、地域の商店が高齢者等の生活を支えているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8. 工業 創造性と活力あふれる工業基盤が形成されているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9. 労働・雇用 老若男女、障がいの有無、育児者、介護者など、誰もが健康に安心して働けるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10. 観光 観光拠点が近隣住民や国内外の観光客でにぎわい、イベントに市民がよく参加しているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1



現在

将来

● (第2章) みんなが健康でいきいきと暮らせるまち

現在の達成状況と これから約10年間での重要性	A 現在の達成状況					B これから約10年間での重要性						
	そう なっていない	な まっている	ま まあそつ 言えない	ど ちらとも な っていない	あ まりそつ な っていない	そ うな って いない	重 要	や や重 要	ど こか 言 えない	重 要で ない	あ まり 重 要で ない	重 要で ない
まちの姿と取組												
11. 地域福祉 高齢者や障がい者などだれもが社会参加し、支え合い、安心した生活ができるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
12. 高齢福祉・介護 高齢者が、住み慣れた地域で全世代との支え合いにより、いきいき暮らせるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
13. 障がい福祉 障がいの有無に関わらず、みなが人格と個性を尊重し支え合い、社会に参加できるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
14. 子育て 妊娠、子育て中でも希望の生き方ができ、子育て支援により子どもたちが健やかに育つまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
15. 生活自立支援 低所得者、ひとり親家庭が十分に支援され、みな自立し、生活を送れるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
16. 保健衛生 個々の健康づくりや効果的な事業により、みなが健やかで心豊かに生活できるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
17. 地域医療 地域全体で切れ目ない安定した医療を受けることができるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
18. 医療保険 世代によって不平等のない医療保険制度により、安心して持続的に医療を受けられるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
19. 人権 一人ひとりの人権意識が高く、差別や人権侵害のないまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
20. 男女共同参画 男女が互いの人権を尊重し、平等に社会参画でき、平等に利益を享受できるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		



現在

将来

● (第3章) 人、環境にやさしい安全・安心なまち

現在の達成状況と これから約10年間での重要性	A 現在の達成状況					B これから約10年間での重要性					
	そう なっている	な まっている	ま あそつ 言えない	ど ちらとも な っていない	あ まりそ つ ない	そ うな って いない	重 要	や や重 要	ど ちらとも 言 えない	重 要で ない	あ まり 重 要で ない
まちの姿と取組											
21. 防災 あらゆる災害に強く、市民、行政、防災機関が一体となって防災対策をしている安全・安心なまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
22. 消防・救急 緊急時でも速やかに消火・救急・救助活動が行われる、安心して暮らせるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
23. 交通 人、環境にやさしい交通体系が整備され、安心して便利に移動ができるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
24. 環境保全 市民一人ひとりが地球環境に対する高い意識を持ち、環境への負荷が小さいまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
25. 自然・景観 自然環境が良い景観、住環境を作り、公園・緑地が市民の交流・防災の役割をもつまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
26. 上水道 上水道事業が健全に経営され、市民が安全・安心な水を安定的に使用できるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
27. 下水道 高度な下水処理により水環境が良好で、大雨でも浸水しない安心できるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
28. 消費生活 正しい消費知識や消費者被害を抑える体制整備により、安心して消費生活ができるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
29. 葬儀 家族の死を迎える際に安心して任せられ、一人一人の意思を尊重した葬儀が行われているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	

● (第4章) みんなでつくる分権で躍進するまち

現在の達成状況と これから約10年間での重要性	A 現在の達成状況					B これから約10年間での重要性					
	そう なっている	な まっている	ま あそつ 言えない	ど ちらとも な っていない	あ まりそ つ ない	そ うな って いない	重 要	や や重 要	ど ちらとも 言 えない	重 要で ない	あ まり 重 要で ない
まちの姿と取組											
30. 地域分権 市民による地域のためのまちづくりにより、満足度の高い市民生活が確立されているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
31. コミュニティ 世代を超えた交流により、安全で安心して豊かに暮らせるコミュニティが育まれているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
32. 公益活動 多くの市民が公益活動に参加し、公益活動団体が行政と協働して活動を広げているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	

現在

将来

● (第5章) 豊かな心を育む教育と文化のまち

現在の達成状況と これから約10年間での重要性	A 現在の達成状況					B これから約10年間での重要性					
	そう なっている	まあ なっている	どちら とも言 えない	な っていない	あ まりそ うな っていない	重要	やや 重要	ど ちら とも 言 え な い	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
まちの姿と取組											
33. 学校教育 社会で活躍する心豊かな児童・生徒が育ち、個性や能力を伸ばす教育が行われるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
34. 地域教育 学校・家庭・地域が一体で子どもたちの健全育成に取り組み、地域でともに学び合う活動が活発なまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
35. 社会教育 多くの市民が身近な場所で気軽に生涯学習活動をしており、スポーツを楽しんでいるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
36. 文化 市民一人ひとりが文化の担い手となり、歴史や伝統、芸術を守り育む魅力と活力あふれるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
37. 国際・地域交流 海外の姉妹・友好都市や国内の他地域と交流し、助け合い、理解し合っているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	

● (第6章) 行財政改革を推進し希望の持てるまち

現在の達成状況と これから約10年間での重要性	A 現在の達成状況					B これから約10年間での重要性					
	そう なっている	まあ なっている	どちら とも言 えない	な っていない	あ まりそ うな っていない	重要	やや 重要	ど ちら とも 言 え な い	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
まちの姿と取組											
38. 開かれた市政 多様な市民ニーズを反映した事業が展開され、市民が行政情報を容易に入手し活用しているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
39. 財政 人やお金が行政の各事業に適切に配分され、市民満足度の高いサービスが提供されているまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
40. 広域行政 他市町や国・大阪府との連携や事業により、効率的で質の高い行政サービスを受けられるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
41. 情報通信技術 電子化などにより、離れた場所から利用できるなど便利で充実した行政サービスを受けられるまち	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	



問4 池田市はSDGsの推進に取り組んでいます。SDGsとは、2015年の国連サミットでかけられた、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標で、下記(問5)の17の目標があります。あなたはSDGsについて知っていますか。(いずれか1つに○)

1. 内容を説明できるくらい知っている	2. 少しだけなら説明できるくらい知っている
3. 名前だけ聞いたことがある	4. 知らない

問5 SDGsの目標達成に向けて、17の目標のうち特にどの目標に貢献すればよいと思いますか。以下の(ア)(イ)のそれぞれの場合について回答してください。

(ア) 池田市や市民が
地域や市民のために
取り組む場合(それぞれ3つずつ○)

(イ) 池田市や市民が
世界や地球のために
取り組む場合(それぞれ3つずつ○)

目標	(ア)	(イ)
(例) 1. 貧困をなくそう	○	○
1. 貧困をなくそう		
2. 飢餓をゼロ		
3. すべての人に健康と福祉を		
4. 質の高い教育をみんなに		
5. ジェンダー平等を実現しよう		
6. 安全な水とトイレを世界中に		
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
8. 働きがいも経済成長も		
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう		
10. 人や国の不平等をなくそう		
11. 住み続けられるまちづくりを		
12. つくる責任 つかう責任		
13. 気候変動に具体的な対策を		
14. 海の豊かさを守ろう		
15. 陸の豊かさも守ろう		
16. 平和と公正をすべての人に		
17. パートナーシップで目標を達成しよう		



4. 新しい生活様式などについてお聞きします。

問1 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、テレワークなど、場所や時間にとらわれない働き方が広まりつつあります。感染拡大の影響で、あなたは在宅勤務やサテライトオフィス等を利用した遠隔での勤務をしたことがありますか。また、学生の場合、在宅で授業、講義を受けたことはありますか。(いずれか1つに○)

1. ある	2. ない
3. もともと家の中で労働、学習している。	

問2 新型コロナウイルスの感染拡大などの影響で、遠方への外出が難しく、自宅や池田市内の滞在時間がこれまでより長くなった場合、どのようなサービスや施設を利用したいですか。(あてはまる番号全てに○)

1. 食料品などの配達サービス
2. 料理の出前サービス
3. インターネット環境の整った、三密でないワーキングスペース
4. 市内各地にステーションがある、貸し自転車サービス
5. 五月山など、自然に触れ合う体験ができるサービス
6. 子どもを安心して預けることができるサービス
7. その他(具体的に
)

問3 暮らしが多様化する中、ニーズに沿った新しい商品やサービスを生み出すために、企業だけではなく、大学や、ユーザーとなる市民などが参加し、共同で研究や開発等を行う「リビングラボ」という取組の重要性が高まっています。このような取組に関心はありますか。(いずれか1つに○)
また、地域や暮らしの中で困っていることや解決したいことについて、自由にご記入ください。

1. 関心があり、参加してみたい	2. 関心はあるが、参加したくはない	3. 関心はない
<p>★地域や暮らしの中で困っていることや解決したいこと (例) ごみステーションの当番が大変、子育てや介護でストレスを感じている、自治会や地域活動を円滑に進めたい、ペットを飼っていて旅行できない など</p>		

5. あなた（あて名の方）ご自身のことについてお聞きします。

あてはまる番号それぞれに○をしてください。

性 別	1. 男性	2. 女性	3. その他	※性別を選択することに違和感や抵抗感がある場合は、無回答でも結構です。	
年 齢 (2020年 9月1日現在)	1. 19歳以下		2. 20～29歳		3. 30～39歳
	4. 40～49歳		5. 50～59歳		6. 60～69歳
	7. 70歳以上				
配偶者の有無	1. 有			2. 無	
子どもの人数	1. なし	2. 1人	3. 2人	4. 3人	5. 4人以上
世 帯 構 成	1. ひとり暮らし		2. 夫婦のみ		3. 二世帯同居（親と子など）
	4. 三世帯同居（親・子・孫など）		5. その他（ ）		
職 業	1. 会社員・正社員・正職員※ ※非営利法人（財団、社団、各種団体、組合等）勤務者			2. 事業主・会社経営者	
	3. 自由業※（弁護士・開業医・個人教師等） ※一定の雇用関係によらず独立して営む専門的職業			4. 公務員	
	5. 家業手伝い（農林業含む）			6. パート、アルバイト、派遣社員等	
	7. 主に家事			8. 学生	
	9. 無職			10. その他（ ）	
お 住 ま い の 住 居 形 態	1. 持家（一戸建て）			2. 持家（マンション等集合住宅）	
	3. 公営・公団住宅			4. 民間賃貸	
	5. 社宅・公務員住宅			6. その他（ ）	
池 田 市 に 住 ん で い る 年 数	1. 1年未満		2. 1年以上5年未満		3. 5年以上10年未満
	4. 10年以上20年未満		5. 20年以上30年未満		6. 30年以上
勤 務 地 地 通 学 地	1. 池田市内		2. 大阪市内		3. 大阪府下の他市町村
	4. 兵庫県		5. その他府県		6. 無職（通勤地・通学地なし）
お 住 ま い の 小 学 校 区	1. 池田小学校区	2. 秦野小学校区	3. 北豊島小学校区	4. 呉服小学校区	
	5. 石橋小学校区	6. 五月丘小学校区	7. 石橋南小学校区	8. 緑丘小学校区	
	9. 神田小学校区			10. ほそごう学園校区（旧細河小学校区）	
	11. ほそごう学園校区（旧伏尾台小学校区）			12. わからない（町名： ）	

6. その他

問 これからの池田市のあり方について、アイデア・意見などありましたら自由にご記入ください。

以上で、池田市政に関する市民アンケート（意識調査）の基本的な項目の記入は終わりです。

なお、次ページ以降に、コミュニティ活動や市民参加に関する、より詳細な設問を設けていますので、ご協力いただける方は、引き続きご記入をお願いいたします。

これまでの項目のみをご回答いただく場合は、調査票を折りたたみ、返信用封筒に入れて、2020年9月27日（日）までに、最寄りの郵便ポストに投函してください。

お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。

7. コミュニティ活動や市民参加についてお聞きします。

問1 本市は各小学校区に「地域コミュニティ推進協議会」を設立し、それぞれの地域の課題の解決に向けて取り組んでいただく地域分権を実施しています。このことをあなたは知っていますか。(どちらか1つに○)をおつけ下さい。

1. 知っている

2. 知らない

問2へ

付問1 現行の地域コミュニティ推進協議会による共助の関係の構築について、あなたはどのように思いますか。(いずれか1つに○)

1. 継続して推進すべき	2. ある程度推進すべき
3. どちらともいえない	4. あまり推進すべきでない
5. 推進すべきでない	6. わからない

付問2 地域コミュニティ推進協議会の活動を推進することにより、次のような公共サービスの変化がありましたか。(あてはまる番号それぞれに○)

	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない
①地域の課題を地域で解決できている	1	2	3	4
②市民の多様なニーズに対応できている	1	2	3	4
③市政運営に市民の意見が的確に反映されている	1	2	3	4
④税金の有効活用になっている	1	2	3	4

付問3 地域コミュニティ推進協議会の活動を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わることを期待していますが、あなたはどのように思いますか。(あてはまる番号それぞれに○)

	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない
①市政に関心をもつ市民が増えた	1	2	3	4
②住民が池田市の現状をこれまで以上に知ることができた	1	2	3	4
③地域住民同士の連携が強くなった	1	2	3	4
④地域の自主性・独自性が高まった	1	2	3	4
⑤市民活動に参加する市民が増えた	1	2	3	4

付問4 現行の地域コミュニティ推進協議会のあり方について、地域分権制度の改変も含めて検討しています。現在のコミュニティ活動に関し、ご意見、ご提案がありましたら、どのようなことでも結構ですからご自由にお書き下さい。

問2 あなたは、お住まいの地域の情報を何から得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 広報いけだ
2. 池田市ホームページ
3. 地域コミュニティ紙(地域コミュニティ推進協議会発行)
4. 地域の掲示板
5. 自治会やPTA等の地域の各種団体の会合等
6. ご近所付き合い
7. 得られていない
8. その他(具体的に)

問3 あなたは、地区での行事や活動にどのくらい参加されていますか。(あてはまる番号それぞれに○)

	よく参加する	ときどき参加する	あまり参加しない	全く参加しない	そのような行事・活動がない、知らない
①地域コミュニティ推進協議会活動	1	2	3	4	5
②自治会活動	1	2	3	4	5
③婦人会、老人クラブ、子供会活動	1	2	3	4	5
④社会奉仕(ボランティア)活動	1	2	3	4	5
⑤趣味・文化・教養等のサークル活動	1	2	3	4	5
⑥スポーツ・レクリエーション等のサークル活動	1	2	3	4	5
⑦盆おどり、祭りなどの行事	1	2	3	4	5
⑧その他(例 自主防災組織等) (具体的に)	1	2	3	4	5

問4 住みよいまちは、市民がお互いに協力しながらつくっていく必要があります。次のような活動が進められた場合、あなたはどのような活動に参加しようとお考えですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 住民の自主的なまちづくりの企画・立案
2. 地区の防犯・防災活動
3. 花や木を植え、育てる緑化推進活動
4. 公園、道路などの清掃・美化活動
5. まつりや盆踊りなどのふるさと行事
6. 地区の公共施設の管理運営
7. 青少年を健全に育成するための地域活動
8. 高齢者や障がい者などに対する地域福祉活動
9. 文化・スポーツ・レクリエーション活動などを通じてのふれあいづくり
10. 子育て支援をする会の地域活動
11. 生涯学習活動などでの知識・経験の提供
12. その他（具体的に _____ ）

付問1 また、これからの活動を円滑にすすめるために特に必要なものは、何だと考えられますか。（あてはまる番号に3つまで○）

1. 住民が協力してとりくむ意識が強いこと
2. 専門的な知識を持った人がいること
3. 熱心にとりくむ人がいること
4. 活動・集会の場があること
5. 運営のための資金的な基盤があること
6. 団体・サークルが組織されていること
7. 各種活動の状況が広く知らされていること
8. 気運を盛り上げる講演会、勉強会などがあること
9. 気軽に相談にいける窓口が行政に設置されていること
10. 行政が積極的に支援してくれる体制が整っていること
11. その他（具体的に _____ ）

問5 あなたは、地域活動をさらに活性化するために、市に求められるものは何だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 地域住民への情報提供
2. 地域住民の意識啓発
3. 市職員の地域活動への参加
4. 資金援助
5. 活動の場の提供
6. その他（具体的に)

問6 今後、市民参加によるまちづくりを行っていくにあたって、特にどのようなまちづくりを進めていくのがよいと思いますか。（あてはまる番号に3つまで○）

1. 美しい自然を残す、緑あふれるまちづくり
2. 気持ちよいあいさつをかわす人間関係豊かなまちづくり
3. 伝統芸能（祭りなど）のいきづつまちづくり
4. 市民スポーツのさかんなまちづくり
5. 生涯学習のさかんなまちづくり
6. 文化活動に特色をもたせたまちづくり
7. 老人を大切に、老人の顔に輝きのあるまちづくり
8. 若者に魅力があるまちづくり
9. 子どもがいきいきとすごせるまちづくり
10. 障がい者が自由に行動できるまちづくり
11. その他（具体的に)

以上で、池田市政に関する市民アンケート（意識調査）の全ての項目の記入は終わります。

調査票を折りたたみ、返信用封筒に入れて、2020年9月27日（日）までに、最寄りの郵便ポストに投函してください。

お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。

